

— 毎日学ぼう —

# 日本語のイディオムと文型

山 元 啓 史  
小 林 典 子  
アンジェラキム

2013 年 4 月 24 日



# 第1章 はじめに

『日本語のイディオムと文型』は1985年ごろから、日本語の慣用表現を教えるための補助教材として作られ始めた。当初は、「日本語補助教材」という単なるプリントであった。それ以後、収録表現や解説、教室用の練習、例文が追加された。1995年、筑波大学で山元がこれを使って再び教えるようになったのは、日本語5という上級の学生の週1回のクラスであった。一年ごとに日本語5の教師は交代し、2年を小林先生と山元が交替で担当するようになった。この教材に興味をもってくださった小林先生はこの教材の198番以降を追加してくださった。また、解説編の原稿に目を通し、さらに例文や説明をたくさん追加してくださった。その段階で、この教材は山元単独の仕事ではなくなった。2004年、この教材、20年目の年、キャンベラで、この教材をおもしろいといってくださったアンジェラ・キム先生は、各例文の英訳を修正、追加、校正をしてくださった。母語の韓国語に加え、日本語・英語の堪能なキム先生は英訳のみならず、学ぶ立場からの上級日本語の難しさを教えていただき、教材に盛りこんでいただけた。

## 1.1 目的

これは、いわゆる慣用表現を中心に学習する教材である。たとえば、英語でいうならば、“go for it”, “way to go” などのように、それぞれの単語は比較的簡単であるが、それらが組み合わせられた時に、つなぎ合わせるだけでは理解できない特殊な表現がある。また、副詞や接続詞は単純な名詞や動詞が組み合わさって作られている場合が多いが、これらを教科書で学ぶ機会はあまりない。

## 1.2 構成

この教材は4章からなっている。2章は学生用の練習シートである。1ページに10の例文が含まれている。10の例文に10の表現の提出というのではなく、10の例文の中には複数の重要な表現が含まれている。10の例文を覚えると、2倍とも3倍ともいえる数の表現を覚えることになる。各例文の行間はやや広くとり、そこに教師がいった説明や学生自らが作った例文などが書き込めるようにした。

3章は、解説編である。答、例文、解説がその主な内容である。このページをコピーして学生に配布しても良いが、例文だけはクラスで読み上げ、意味の確認をしたほうが良い。

4部は、自習をしたいという学生のための英訳である。しかし、自習はあまり勧められない。表現の学習は適切に使えているかどうかを、誰かに判断してもらわなければならないからである。自習の場合には必ず教師もしくは母語話者に正しく使えているかをチェックしてもらうことが重要である。

その他、学生がWEBを使って例文を提出するシステムなどコンピュータプログラムなどがある。

## 1.3 時間配分

筑波大学で実施したときには、1週間1ページ、75分で、新しい10の例文を取り扱う授業であった。75分の前半30分は前の週の10の例文にしたがって学生が書いて来た宿題の添削講評に費され、そこでは、間違いの多かった表現の使われ方を見せ、なぜ間違いであるのか、どう正せばよいのかを説明し、さらに例文を口頭で作ってもらったり、学生が宿題として書いてきた短文のうち、良い例文やおもしろい例文を

紹介して、何度も同じ表現を別の文で触れるようにした。後半のおよそ45分は新しい10の例文を習う時間となった。教師が説明し、答を述べるだけでは、覚えにくいので、はじめの10分ぐらいは、答のないシートでどんな言葉が括弧の中に入るのか、まず考えて意見をいってもらうことにした。これで、その例文中の表現に初めて、1回目触れたこととなる。次に残りの30分ぐらいを使って、解説編にあるような注意を説明しながら、括弧に当てはまる言葉を教えていく。これで、2回目の接触となる。宿題として、10の例文中の表現を使って、自分で10の短文を作ってくるのが宿題となるから、それが3回目の接触、次の週のはじめでは、前に述べたように、添削が返却され、それをチェックして、4回目の接触。他の学生が書いた、間違った例文、良い例文、おもしろい例文を聞いて（多少、笑いがあって楽しかったが）、これで5回目の接触があったわけである。

## 1.4 サンプルシラバス

## 第2章 練習編

クイズ、練習として使うコピーのオリジナル。

## 日本語のイディオムと文型 ( 1 - 10 )

なまえ \_\_\_\_\_

1. 傘<sup>かさ</sup>を持<sup>も</sup>って来<sup>こ</sup>ない日<sup>ひ</sup>に ( ) 雨<sup>あめ</sup>が降<sup>ふ</sup>るから、天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>予<sup>よ</sup>報<sup>ほう</sup>はま<sup>ま</sup>るで ( )。
2. 今<sup>きょう</sup>も寒<sup>さむ</sup>いが、それでもき<sup>き</sup>のう<sup>う</sup>ほ<sup>ほ</sup>ど ( )。
3. 私<sup>わたし</sup>はや<sup>い</sup>ると言<sup>い</sup>ったからには最<sup>さい</sup>後<sup>ご</sup>まで ( )。
4. 鍵<sup>かぎ</sup>が ( ) いるから、ど<sup>どこ</sup>かへ出<sup>で</sup>かけ<sup>かけ</sup>たのでし<sup>し</sup>ょう。
5. ど<sup>どん</sup>ん<sup>ん</sup>よりと曇<sup>くも</sup>った、今<sup>いま</sup>にも ( ) 天<sup>てん</sup>気<sup>き</sup>だ。
6. 何<sup>なに</sup>が ( ) さ<sup>さ</sup>っ<sup>っ</sup>ぱ<sup>ぱ</sup>り<sup>り</sup>わ<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>ら<sup>ら</sup>な<sup>な</sup>い。
7. ( ) 窓<sup>まど</sup>の外<sup>そと</sup>を見<sup>み</sup>ると、木<sup>き</sup>の葉<sup>は</sup>が赤<sup>あか</sup>く染<sup>そ</sup>ま<sup>ま</sup>っ<sup>っ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>た。
8. 秋<sup>あき</sup>も深<sup>ふか</sup>まり朝<sup>あさ</sup>晩<sup>ばん</sup>め<sup>め</sup>っ<sup>っ</sup>き<sup>き</sup>り ( ) が、そ<sup>ご</sup>の<sup>ご</sup>後<sup>ご</sup>い<sup>い</sup>か<sup>か</sup>が<sup>が</sup>お<sup>お</sup>過<sup>す</sup>ご<sup>ご</sup>し<sup>し</sup>で<sup>で</sup>し<sup>し</sup>ょう<sup>う</sup>か。
9. 読<sup>よ</sup>むこ<sup>こ</sup>とは ( ) が内<sup>ない</sup>容<sup>よう</sup>は<sup>は</sup>よ<sup>よ</sup>く<sup>く</sup>わ<sup>わ</sup>か<sup>か</sup>り<sup>り</sup>ま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん<sup>ん</sup>で<sup>で</sup>し<sup>し</sup>た。
10. 彼<sup>かれ</sup>は知<sup>し</sup>っ<sup>っ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>た<sup>た</sup>く<sup>く</sup>せ<sup>せ</sup>に ( ) を<sup>を</sup>し<sup>し</sup>て私<sup>わたし</sup>に<sup>に</sup>教<sup>おし</sup>え<sup>え</sup>て ( )。

# 日本語のイディオムと文型 ( 11 – 20 )

なまえ \_\_\_\_\_

11. どんなに流れが ( <sup>なが</sup> ) 魚 <sup>さかな</sup> は川 <sup>かわ</sup> をのぼ <sup>い</sup> って行く。
12. 彼女は毎日一日も ( <sup>かのじょ</sup> <sup>まいにちいちにち</sup> ) 働 <sup>はたら</sup> いた。
13. 向こうに無事に ( <sup>む</sup> <sup>ぶ</sup> <sup>じ</sup> ) すぐ電話 <sup>でんわ</sup> をください。
14. もう春 <sup>はる</sup> だというのに、まるで冬 <sup>ふゆ</sup> の ( <sup>さむ</sup> ) 寒 <sup>さむ</sup> さです。
15. 少し <sup>すこ</sup> 頭 <sup>あたま</sup> が痛 <sup>いた</sup> いけれど、今日は試験 <sup>きょう</sup> があるから、どうしても学校 <sup>がっこう</sup> へ行 <sup>い</sup> かない ( )。
16. あした田中 <sup>たなか</sup> さんに会 <sup>あ</sup> ったら、私 <sup>わたし</sup> に電話 <sup>でんわ</sup> する ( )。
17. 今度 <sup>こんど</sup> 失敗 <sup>しっぱい</sup> したら、もう研究 <sup>けんきゅう</sup> を続 <sup>つづ</sup> けることは ( <sup>え</sup> ) を得 <sup>え</sup> ないだろう。
18. いくらたくさん ( )、( <sup>ふと</sup> ) 太 <sup>ふと</sup> るとはかぎりません。
19. 高い <sup>たか</sup> 所 <sup>ところ</sup> に登 <sup>のぼ</sup> れば ( ) ますます山 <sup>やま</sup> の上 <sup>うへ</sup> の空気 <sup>くうき</sup> は少 <sup>すく</sup> なくなります。
20. 私 <sup>わたし</sup> は ( ) といえ、肉 <sup>にく</sup> より魚 <sup>さかな</sup> のほう <sup>す</sup> が好き <sup>す</sup> です。

## 日本語のイディオムと文型 ( 21 – 30 )

なまえ \_\_\_\_\_

21. 文法書( <sup>ぶんぽうしょ</sup> ) 文法書はすべて目を通して( <sup>めとお</sup> )ましたが、どこにもそんなことは書いて( <sup>か</sup> )ありませんよ。
22. 研究に研究を( <sup>けんきゅう</sup> <sup>けんきゅう</sup> ) ( <sup>けんきゅう</sup> ), やっと実験の結果( <sup>じっけん</sup> <sup>けっか</sup> )が( <sup>で</sup> )出ました。
23. 植物にとって日光と水分と二酸化炭素( <sup>しよくぶつ</sup> <sup>にっこう</sup> <sup>すいぶん</sup> <sup>にさんかたんそ</sup> <sup>せいいく</sup> )は生育に( <sup>せいいく</sup> ) ( <sup>せいいく</sup> )ないものである。
24. 子どもの時の癖( <sup>こ</sup> <sup>とき</sup> <sup>くせ</sup> )が( <sup>くせ</sup> ) ( <sup>くせ</sup> )に直( <sup>なお</sup> )らない。
25. 同じ買う( <sup>おな</sup> <sup>か</sup> ) ( <sup>か</sup> ), 安く( <sup>やす</sup> )て良いもの( <sup>よ</sup> )が買( <sup>か</sup> )いたい。
26. こんな成績( <sup>せいせき</sup> )では( <sup>せいせき</sup> ) ( <sup>せいせき</sup> )いい大学( <sup>だいがく</sup> )には入( <sup>はい</sup> )れない。
27. 人間の( <sup>にんげん</sup> ) ( <sup>にんげん</sup> )だから、間違( <sup>まちが</sup> )うのは当( <sup>あた</sup> )り前( <sup>まえ</sup> )だ。
28. 日本は公園( <sup>にほん</sup> <sup>こうえん</sup> )が少( <sup>すく</sup> )なすぎると言( <sup>い</sup> )われているが、果( <sup>はた</sup> )して( <sup>はた</sup> ) ( <sup>はた</sup> )か。
29. 今回( <sup>こんかい</sup> )は少( <sup>すく</sup> )なかったが、次回( <sup>じかい</sup> )は( <sup>じかい</sup> ) ( <sup>じかい</sup> )多く( <sup>おお</sup> )の人( <sup>ひと</sup> )に來( <sup>き</sup> )てもらいたいものだ。
30. 非常( <sup>ひじょう</sup> )に残( <sup>ざん</sup> )念( <sup>ねん</sup> )なことだが、彼( <sup>かれ</sup> )が犯( <sup>はん</sup> )人( <sup>にん</sup> )と( <sup>にん</sup> ) ( <sup>にん</sup> )をえ( <sup>え</sup> )ない。



## 日本語のイディオムと文型 ( 31 – 40 )

なまえ \_\_\_\_\_

31. 休養<sup>きゅうよう</sup>があつて (                      )、人間<sup>にんげん</sup>の生活<sup>せいかつ</sup>は (                      )。
32. わざわざ<sup>にほん</sup>日本<sup>き</sup>へ来て、日本語<sup>にほんご</sup>を勉強<sup>べんきょう</sup>しないのは来た<sup>き</sup> (                      )。
33. どこかへ旅<sup>たび</sup>に行きたくなるが、別<sup>べつ</sup>にどこというきまった (                      ) はない。
34. 東北線<sup>とうほくせん</sup>の全列車<sup>ぜんれつしや</sup>はスキー客<sup>きやく</sup>で (                      ) づめだ。
35. 誰<sup>だれ</sup>に笑われようと (                      )。
36. 安心<sup>あんしん</sup>する (                      ) か心配<sup>しんぱい</sup>で夜<sup>よる</sup>も眠れ<sup>ねむ</sup>ません。
37. この雨<sup>あめ</sup>は一昨日<sup>いつさくじつ</sup>から (                      )。
38. 秋<sup>あき</sup>の静かな<sup>しず</sup>夜<sup>よる</sup>などには、亡<sup>な</sup>くなった母<sup>はは</sup>のことが (                      )。
39. 閉めたはずの扉<sup>とびら</sup>が (                      )。
40. こんなおもしろい映画<sup>えいが</sup>はめったに (                      )。

## 日本語のイディオムと文型 ( 41 – 50 )

なまえ \_\_\_\_\_

41. 何も強い ( <sup>なに つよ</sup> ) が男 <sup>おとこ</sup> ではない。優しくなければ男 <sup>おとこ</sup> ではない。

42. その動物 <sup>どうぶつ</sup> は気温 <sup>きおん</sup> が上昇 <sup>じょうしょう</sup> するに ( <sup>たいおん</sup> ) 体温 <sup>じょうしょう</sup> も上昇 <sup>じょうしょう</sup> するそうです。

43. 初め <sup>はじ</sup> は易 <sup>やさ</sup> しかったが ( <sup>むずか</sup> ) 難 <sup>むずか</sup> しくなってきた。

44. ( <sup>にん</sup> ) 4人 <sup>にん</sup> いるから、マージャンをしましょう。

45. 郵便局 <sup>ゆうびんきょく</sup> へ行く ( <sup>い</sup> ) にスーパー <sup>い</sup> へ行って買物 <sup>かいもの</sup> をしてきてください。

46. この絵 <sup>え</sup> は見れば ( <sup>あじ</sup> ) いい味 <sup>あじ</sup> がある。

47. 明日 <sup>あす</sup> は定休日 <sup>ていきゅうび</sup> なので ( <sup>あす</sup> ) ていただきます。

48. 今 <sup>いま</sup> すぐ連絡 <sup>れんらく</sup> したいのだが、 ( <sup>かれ</sup> ) 彼の <sup>でんわばんごう</sup> 電話番号 <sup>でんわばんごう</sup> がわからない。

49. 彼は <sup>かれ</sup> いつもおもしろい話 <sup>はなし</sup> をして私 <sup>わたし</sup> たちを ( <sup>わたし</sup> ) 。

50. 山火事 <sup>やまかじ</sup> でたくさん <sup>き</sup> の木 <sup>き</sup> が ( <sup>き</sup> ) てしまった。

## 日本語のイディオムと文型 ( 51 – 60 )

なまえ \_\_\_\_\_

51. 水( <sup>みず</sup> ) あれば、二、三日<sup>にち</sup>ぐらい生き<sup>い</sup>延<sup>の</sup>びることができる。

52. どんなにつらくても最後<sup>さいご</sup>まで努力<sup>どりょく</sup>し ( ) なければなりません。

53. 事故<sup>じこ</sup>は ( ) ことはなさそうだ。

54. これはほんのお礼<sup>れい</sup>の ( ) です。

55. 少し<sup>すこ</sup>高い<sup>たか</sup>とおもいましたが、 ( ) て、買<sup>か</sup>うことにしました。

56. 手<sup>て</sup>のひらを ( ) ように彼<sup>かれ</sup>の態度<sup>たいど</sup>が変<sup>か</sup>わった。

57. 切符<sup>きっぷ</sup>を買<sup>か</sup>う人<sup>ひと</sup>が ( ) を作<sup>つく</sup>って待<sup>ま</sup>っている。

58. き<sup>せんせい</sup>のう<sup>はなし</sup>の先生<sup>わたし</sup>の話<sup>きょうみ</sup>は私<sup>わたし</sup>の興<sup>きょうみ</sup>味<sup>み</sup>を ( ) 。

59. な<sup>おも</sup>くなった<sup>おも</sup>とおもっていた本<sup>ほん</sup>が机<sup>つくえ</sup>の下<sup>した</sup>で ( ) 。

60. それは ( ) 通<sup>とお</sup>りがか<sup>みせ</sup>った店<sup>み</sup>で見<sup>ほりだ</sup>つけた掘<sup>もの</sup>出し物<sup>もの</sup>だ。

## 日本語のイディオムと文型 ( 61 – 70 )

なまえ \_\_\_\_\_

61. ( ) して、電車でんしゃの中なかにかばんわすを忘れてしまった。

62. 悲惨ひさんな交通事故こうつうじこを見て、背筋せすじが ( ) した。

63. 台湾たいわんでは冬ふゆでも ( ) 水みずで顔かおを洗あらう。

64. 子どもたちはもう独立どくりつして、その夫婦ふうふはのんびり気楽きらくに ( ) いる。

65. あなたにき来て ( ) と大変たいへんありがたいです。

66. ナイフで手てを切きって血ち ( ) です。

67. ( ) たてのパンはとてもおいしいです。

68. 雨あめが降ふるからといって、会社かいしやを休やすむ ( ) 。

69. 12月がつになると、クリスマスに ( ) 音楽おんがくが街まちに流ながれる。

70. 飲のんではいけないとは知しりながら楽たのしくなって、 ( ) 飲のんでしまう。

## 日本語のイディオムと文型 ( 71 – 80 )

なまえ \_\_\_\_\_

71. 夕焼<sup>ゆうや</sup>けがきれいなので、あしたは雨<sup>あめ</sup>が( )ない。
72. 「背中<sup>せなか</sup>のどこがかゆいですか。ここですか」「ええ、ええ、( )です。ああ気持<sup>きも</sup>ちいい」
73. 言葉<sup>ことば</sup>と文化<sup>ぶんか</sup>は切<sup>き</sup>っても( )関係<sup>かんけい</sup>がある。
74. 一人一人<sup>ひとりひとり</sup>の意見<sup>いけん</sup>を聞いていたのでは( )から、投票<sup>とうひょう</sup>にしましょう。
75. 「結局<sup>けっきょく</sup>、力<sup>ちから</sup>のある者<sup>もの</sup>が勝<sup>か</sup>つのですね。」「ええ、人生<sup>じんせい</sup>とは( )もんですよ。」
76. 私<sup>わたし</sup>は飲<sup>の</sup>みたくなかったのに、( )にお酒<sup>さけ</sup>を( )た。
77. あいつは俺<sup>おれ</sup>の気<sup>き</sup>に( )ことばかり言<sup>い</sup>うやつだ。
78. エジプトというと、我々はすぐピラミッドを( )。
79. 日本民族<sup>にほんみんぞく</sup>が、このようにして、南方<sup>なんぽう</sup>から渡来<sup>とらい</sup>したという説<sup>せつ</sup>も、十分<sup>じゅうぶん</sup>に( )。
80. 友達<sup>ともだち</sup>の家<sup>いえ</sup>へ電話<sup>でんわ</sup>したら、全然<sup>ぜんぜん</sup>知らない人<sup>ひと</sup>が電話<sup>でんわ</sup>に( )。

## 日本語のイディオムと文型 ( 81 – 90 )

なまえ \_\_\_\_\_

81. この問題は簡単なのに、誰( <sup>だれ</sup> )として答えられなかった。
82. 何だろうと考える( <sup>なん</sup> <sup>かんが</sup> )もなく、すぐに子供の風船が割れたのだとわかった。
83. あの人は35歳の働き( <sup>ひと</sup> <sup>さい</sup> <sup>はたら</sup> )で、亡くなってしまう、大変残念です。
84. 鈴木さんは45歳という( <sup>すずき</sup> <sup>さい</sup> )で( <sup>よ</sup> <sup>わか</sup> )世に別れを( <sup>えいえん</sup> )、永遠の( <sup>えいえん</sup> )についた。
85. 余裕があれば、旅行に( <sup>よゆう</sup> <sup>りょこう</sup> )行きたいが、現実はそんなに( <sup>げんじつ</sup> )ない。
86. 大学4年間パチンコとマージャンに( <sup>だいがく</sup> <sup>ねんかん</sup> )をぬかし、( <sup>べんきょう</sup> )に勉強しなかった。
87. あの人は、そんなことはもう経験( <sup>ひと</sup> <sup>けいけん</sup> )なので、同じ過ちは、2度と( <sup>おな</sup> <sup>あやま</sup> <sup>ど</sup> )。
88. 今回の事件で両親をずいぶん( <sup>こんかい</sup> <sup>じけん</sup> <sup>りょうしん</sup> )てしまった。
89. 彼だったら、常識がないので、それぐらいのことは( <sup>かれ</sup> <sup>じょうしき</sup> )。
90. 蓮の花からは何とも( <sup>はす</sup> <sup>はな</sup> <sup>なん</sup> )ほど、いい匂いが漂っているのです。

## 日本語のイディオムと文型 ( 91 – 100 )

なまえ \_\_\_\_\_

91. 9時のニュースを見ようと思っていたのに、本に ( ) になって、 ( ) てしまった。

92. それまで毎日遊んでいたのに、急に人が ( ) ように真面目に勉強しはじめた。

93. 父はアルコール中毒なので、お酒なしでは一時も ( ) ない。

94. 現代では家族全員そろって食事をする風景など、まず ( ) ない。

95. 統計によると、全員そろって食事をする家庭はわずかに8%に ( ) 。

96. 日曜日なのに、雨も降っているし、お金もないし、家で寝るより ( ) 。

97. 彼はまさか外国人では ( ) 。

98. ( ) 声楽科の学生だけあって、普段の声もいいですね。

99. あなたが悪いのだから、あなたが謝る ( ) と思う。

100. 1000円は ( ) 、10円玉 ( ) もないのだから、いくら ( ) と言われ  
ても返せない。

## 日本語のイディオムと文型 ( 101 – 110 )

なまえ \_\_\_\_\_

101. こんなに激<sup>はげ</sup>しい雪<sup>ゆき</sup>では、出<sup>で</sup>かけようにも ( )。
102. あんな社<sup>しゃ</sup>長<sup>ちょう</sup>に文句<sup>もんく</sup>をい<sup>き</sup>った ( )で、聞<sup>き</sup>いてくれるわけがない。
103. 手紙<sup>てがみ</sup>を一<sup>い</sup>通<sup>つう</sup>よこした ( )、何<sup>なん</sup>の音沙汰<sup>おとさた</sup>もない。
104. この部<sup>へ</sup>屋<sup>や</sup>を遊<sup>あそ</sup>ばせて ( )のはもったいない。
105. 明<sup>めい</sup>治<sup>じ</sup>生<sup>う</sup>まれ<sup>う</sup>の画<sup>が</sup>家<sup>か</sup>は、彼<sup>かれ</sup>一<sup>し</sup>人<sup>お</sup>であ<sup>く</sup>った ( )に、彼<sup>かれ</sup>の死<sup>し</sup>は大<sup>お</sup>いに悔<sup>く</sup>やまれる。
106. 私<sup>わたし</sup>の不<sup>ふ</sup>注<sup>ちゅう</sup>意<sup>い</sup>で、子<sup>こ</sup>供<sup>ども</sup>に大<sup>お</sup>怪<sup>お</sup>我<sup>が</sup>を ( )しまった。
107. 彼<sup>かれ</sup>は風<sup>か</sup>邪<sup>ぜ</sup>をひいたにも ( )、マ<sup>たい</sup>ラ<sup>かい</sup>ソ<sup>ん</sup>大<sup>たい</sup>会<sup>かい</sup>で優<sup>ゆう</sup>勝<sup>しょう</sup>した。
108. 病<sup>び</sup>院<sup>ょう</sup>に見<sup>み</sup>舞<sup>ま</sup>い<sup>い</sup>に行<sup>い</sup>く ( )、も<sup>すこ</sup>う少<sup>げん</sup>し元<sup>げん</sup>氣<sup>き</sup>にな<sup>き</sup>ってか<sup>き</sup>らに<sup>き</sup>しなさい。
109. 原<sup>げん</sup>子<sup>し</sup>力<sup>りき</sup>はそれ以<sup>い</sup>後<sup>ご</sup>新<sup>あたら</sup>しいエネ<sup>え</sup>ルギ<sup>るぎ</sup>ーと<sup>し</sup>て注<sup>ちゅう</sup>目<sup>もく</sup>を ( )ようにな<sup>な</sup>った。
110. もうち<sup>か</sup>よ<sup>さ</sup>つとで、傘<sup>でん</sup>を電<sup>しや</sup>車<sup>わす</sup>に忘<sup>わす</sup>れる ( )でしたよ。



# 日本語のイディオムと文型 ( 111 – 120 )

なまえ \_\_\_\_\_

111. そばかうどんか、さんざんまよった ( ) 結局カレーライスを食べた。
112. 夏の暑い日にはビアガーデンで冷えたビールをのむに ( )。
113. こうした科学の現象はいったい、人間にどんな影響を ( ) であろうか。
114. あなたが ( ) と、行くまいと、私には関係ないことだ。
115. 来ていないのは山田さんだけで、バスは出発する ( ) になっている。
116. 彼は、私に向って怒らん ( ) の表情で「何か用事ですか」といった。
117. 空が曇っているとはいえ、傘を持っていく ( ) のことはないですよ。
118. 遺産 ( ) がほしくて今日子と結婚したのではありません。
119. A「どうもありがとうございました。これは御礼として、…」 B「御礼 ( ) いませんよ」  
A「じゃ、 ( ) お名前だけでも教えてください」
120. 迷子の男の子は、迎えに来た母親を見る ( ) 、わっと泣き出した。

## 日本語のイディオムと文型 ( 121 – 130 )

なまえ \_\_\_\_\_

121. 電車<sup>でんしゃ</sup>に遅れまいとして、( ) に走<sup>はし</sup>って、間<sup>ま</sup>に合<sup>あ</sup>った。
122. 子供<sup>こども</sup>じゃ( ) し、いつまでも、お子<sup>こ</sup>様<sup>さま</sup>ランチを食<sup>た</sup>べるんじゃない。
123. 一生<sup>いっしょう</sup>懸<sup>けん</sup>命<sup>めい</sup>、勉<sup>べん</sup>強<sup>きやう</sup>してい( )、なかな<sup>な</sup>か成<sup>せい</sup>績<sup>せき</sup>があがらない。
124. 入<sup>に</sup>学<sup>うがく</sup>試<sup>し</sup>験<sup>けん</sup>をあしたに( ) いるので、今<sup>き</sup>日<sup>よう</sup>は眠<sup>ね</sup>れそうもない。
125. あの人<sup>ひと</sup>はもう食<sup>しょく</sup>事<sup>じ</sup>はすんだと( )、コ-ヒ-を飲<sup>の</sup>みながらタバコを吸<sup>す</sup>っている。
126. 少<sup>しょう</sup>数<sup>すう</sup>意<sup>い</sup>見<sup>けん</sup>は大<sup>たい</sup>切<sup>せつ</sup>にしなければなら<sup>な</sup>い<sup>が</sup>、現<sup>げん</sup>実<sup>じつ</sup>社<sup>しゃ</sup>会<sup>かい</sup>では( ) 無<sup>む</sup>視<sup>し</sup>され( ) です。
127. 今<sup>いま</sup>、あ<sup>あ</sup>の店<sup>みせ</sup>で、ベ<sup>べ</sup>ンツ<sup>ん</sup>が36万<sup>まん</sup>円<sup>えん</sup>で買<sup>か</sup>えます。( )、エ<sup>え</sup>ンジ<sup>ん</sup>ンはあ<sup>あ</sup>りま<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>んが<sup>が</sup>ね。
128. 人<sup>にん</sup>間<sup>げん</sup>( ) なら<sup>ら</sup>ず、サ<sup>し</sup>ル<sup>るか</sup>の社<sup>しゃ</sup>会<sup>かい</sup>にま<sup>ま</sup>で階<sup>かい</sup>級<sup>きゅう</sup>制<sup>せい</sup>度<sup>ど</sup>が存<sup>そん</sup>在<sup>ざい</sup>して<sup>い</sup>る。
129. この仕<sup>し</sup>事<sup>ごと</sup>を三<sup>みつ</sup>日<sup>にち</sup>で終<sup>おわ</sup>らせ<sup>せ</sup>る<sup>ので</sup> ( ) 難<sup>むず</sup>しい<sup>のに</sup>、( ) 半<sup>はん</sup>日<sup>にち</sup>で終<sup>おわ</sup>らせ<sup>せ</sup>る<sup>なんて</sup>気<sup>きち</sup>違<sup>が</sup>い沙<sup>さ</sup>汰<sup>た</sup>です。
130. あ<sup>あ</sup>の人<sup>ひと</sup>はあ<sup>あ</sup>んな顔<sup>かお</sup>をして<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す<sup>が</sup>、( ) 怒<sup>おこ</sup>っている<sup>のでは</sup>あ<sup>あ</sup>り<sup>ま</sup>せ<sup>せ</sup>ん。( ) ああ<sup>あ</sup>い<sup>い</sup>う怒<sup>おこ</sup>った顔<sup>かお</sup>をして<sup>い</sup>る<sup>ので</sup>す。

# 日本語のイディオムと文型 ( 131 – 140 )

なまえ \_\_\_\_\_

131. 驚いた ( <sup>おどろ</sup> ) に、この少年は 300 ページ以上の本を 3 分で読み、その内容を解説するではありませんか。
132. あれだけ、親切にしたのだから、御礼ぐらい言っても ( <sup>しんせつ</sup> <sup>おれい</sup> <sup>い</sup> ) ものだ。
133. 一時間で、ステーキ 3 枚とライス 3 皿を食べ ( <sup>いちじかん</sup> <sup>まい</sup> <sup>さら</sup> <sup>た</sup> ) のはちょっと無理じゃないか。
134. 彼は救い ( <sup>かれ</sup> <sup>すくい</sup> ) のないバカである。
135. A 「あなたは娘の命の恩人。何か御礼をしなければ、私の気が ( <sup>むすめ</sup> <sup>いのち</sup> <sup>おんじん</sup> <sup>なに</sup> <sup>おれい</sup> <sup>わたし</sup> <sup>き</sup> ) ません」 B 「いや、それには ( <sup>おれい</sup> ) 」
136. 常日頃から誤解を ( <sup>つねひごろ</sup> <sup>ごかい</sup> ) ような行動は慎むべきだ。
137. 遺産を ( <sup>いさん</sup> ) 、兄弟の醜い争いが続いている。
138. あなたの言い分が正しいに ( <sup>い</sup> <sup>ぶん</sup> <sup>ただ</sup> ) 、暴力はいけない。
139. 彼の病はもう治らないそうだが、我々は ( <sup>かれ</sup> <sup>やまい</sup> <sup>なお</sup> <sup>われわれ</sup> ) 風を装っておこう。
140. 子供のけんかに親が ( <sup>こども</sup> <sup>おや</sup> ) をはさむのはよくない。

## 日本語のイディオムと文型 ( 141 – 150 )

なまえ \_\_\_\_\_

141. 秋の台風は大雨を ( ) ことが多いようだ。
142. 泣きたければ、( ) ておけばいい。そのうち泣き ( ) でしょう。
143. ( ), 3000 円だけお支払いします。残りは月末まで待ってください。
144. 客を暖かく ( ) 店もあれば、冷たく ( ) 店もある。
145. 泣いている子供は ( ) に叱っても、効果がありませんよ。
146. こんな高い家賃を払うのなら、( ) 、家を買った方がいい。
147. 「よーい、ドン」で、全選手が ( ) にスタートした。
148. 彼が盗んだということも考え ( ) もするが、そうは思いたくないのだ。
149. ( ) ことをお聞きしますが、近くに公衆便所はございますか？
150. クラス ( ) にわかれて、試験を実施いたします。

日本語のイディオムと文型 ( 151 – 160 )

なまえ \_\_\_\_\_

151. 子供が急に道路に飛び出してきて、( ) ひき殺すところだった。
152. そんなに危険なことをして( )、やるほどの価値はない。
153. いつまでも( ) していないで、早く学校へ行きなさい。
154. この喜ばしいニュースを( ) に誰に伝えたいですか。
155. 大きな赤字を出して( )、私はこの仕事を続けたい
156. 旅行に行く( ) 商売する( )、好きなことにこのお金を使いなさい。
157. ここまで準備したのだから、後はもうやる( ) ない。
158. 親切にしてやった上にお金までよこせなんて、あきれて( ) ない。
159. いつも、私にお金を借りるくせに「お母さん、プレゼントは何がいい」なんて( ) ないことを言っている。
160. あの人は誰からも尊敬される人と思っていたのに、あんなひどいことをするなんて、まるで( ) しまったよ。

## 日本語のイディオムと文型 ( 161 – 170 )

なまえ \_\_\_\_\_

161. この品物<sup>しなもの</sup>は、産地直送<sup>さんちちよくそう</sup>( )のご奉仕価格<sup>ほうしかかく</sup>です。
162. これは試験勉強<sup>しけんべんきょう</sup>に ( )の参考書<sup>さんこうしょ</sup>だ。
163. 彼<sup>かれ</sup>がこんなに必死<sup>ひっし</sup>に言う<sup>い</sup>のだから、これは ( )うそではあるまい。
164. 今まで<sup>いま</sup>ががんばってきたのに、( )やめるなんて何<sup>なに</sup>を言<sup>い</sup>っているんだ。
165. 食べ放題<sup>た ほうだい</sup>だといっても、どんなにたくさん食<sup>た</sup>べても、食<sup>た</sup>べて ( ) 3杯<sup>ばい</sup>ぐらいだろう。
166. あまり高<sup>たか</sup>い値段<sup>ねだん</sup>をつけると商品<sup>しょうひん</sup>の ( )が悪<sup>わる</sup>くなる。
167. 相手<sup>あいて</sup>との考<sup>かんが</sup>えの違<sup>ちが</sup>いが大き<sup>おお</sup>くて ( )にならない。
168. どんなにがんばっても、悪口<sup>わるくち</sup>を言<sup>い</sup>われるのが ( )だ。
169. 誰<sup>だれ</sup>もやってくれないので、( )自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>でやった。
170. 事業<sup>じぎょう</sup>が計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>通<sup>とお</sup>り進<sup>すす</sup>まないのは、資<sup>し</sup>金<sup>きん</sup>が不<sup>ふ</sup>足<sup>そく</sup>している ( )、他<sup>ほか</sup>からの妨<sup>ぼう</sup>害<sup>がい</sup>があつたからだと思<sup>おも</sup>われる。

日本語のイディオムと文型 ( 171 – 180 )

なまえ \_\_\_\_\_

171. なんとか ( ) いても、やっぱり自分しか信用できませんね。
172. よくわからないんですが、年金問題が ( ) っている話題だったと思うんですが…。
173. そりゃー、面白いのって ( ) って、腹がはちきれんばかりでしたよ。
174. こんな大切な話を二人 ( ) で、 ( ) 話し合っていたんだってよ。
175. この政治家の企みは、野党の非難を浴びたに ( ) 、全国民の反感までをも ( ) てしまった。
176. 癌というのは、急に発病するという種類の疾病ではなく、日一日と、患者の健康を ( ) 、やっかいな ( ) の病である。
177. この辺は冬はひとけのないさびしい町だが、夏は海水浴シーズンになると派手な水着の若者たちで ( ) 。
178. イギリスのハイド・パークでは、毎日見知らぬもの同士が議論に ( ) ている。
179. 小さなタバコの火が原因で山一帯が火の ( ) になった。
180. 木造の家などは一度火がつくと ( ) うちに灰となっていく。

## 日本語のイディオムと文型 ( 181 – 190 )

なまえ \_\_\_\_\_

181. ものすごいとは ( ) には ( ) が、こんなにすごいとは思わなかったよ。
182. ( ) と思っ<sup>おも</sup>てたことがかえって、あの人<sup>ひと</sup>を不幸<sup>ふこう</sup>にしまった。
183. この次<sup>つぎ</sup>のテストは、その辺<sup>へん</sup>の本<sup>ほん</sup>に書<sup>か</sup>いてあつたことをいいかげん<sup>か</sup>に書<sup>か</sup>いて ( ) にごそう。
184. 親<sup>おや</sup>に実力<sup>じつりょく</sup>以上<sup>いじょう</sup>の期待<sup>きたい</sup>を ( ) た子供<sup>こども</sup>達の自殺<sup>じさつ</sup>が増<sup>ふ</sup>えている。
185. この喫茶店<sup>きっさてん</sup>にはコーヒーのかおりだけでなく店<sup>みせ</sup>の雰<sup>ふん</sup>囲<sup>いき</sup>気も ( ) に来<sup>き</sup>ている客<sup>きやく</sup>が多い<sup>おお</sup>。
186. あかちゃん<sup>う</sup>が産<sup>は</sup>まれて初<sup>ち</sup>めて、父<sup>ちち</sup>親<sup>おや</sup>としての実感<sup>じつかん</sup>が ( ) てきた。
187. 私<sup>わたし</sup>は料理<sup>りょうり</sup>はしな<sup>い</sup>い ( ) ないが、一人<sup>ひとり</sup>のとき<sup>めんどう</sup>は面倒<sup>そと</sup>なのでたいてい外<sup>た</sup>で食<sup>た</sup>べる。
188. あの人<sup>ひと</sup>は東京<sup>とうきょう</sup>へ行<sup>い</sup>った ( ) で、もうここ<sup>い</sup>にないそう<sup>だ</sup>。
189. 彼<sup>かれ</sup>は呼<sup>よ</sup>ばれ ( ) しない ( ) 、黙<sup>だま</sup>って私<sup>わたし</sup>の部屋<sup>へや</sup>に入<sup>はい</sup>ってきた。
190. 本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>によ<sup>く</sup>勉<sup>べん</sup>強<sup>きょう</sup>した ( ) 、よ<sup>い</sup>い成<sup>せい</sup>績<sup>せき</sup>がとれた<sup>のだ</sup>。



# 日本語のイディオムと文型 ( 191 – 200 )

なまえ \_\_\_\_\_

191. 驚く ( <sup>おどろ</sup> )、よろこぶ ( <sup>かいじょう おおさわ</sup> )、会場は大騒ぎだった。
192. 一つ一つ片付けていかない ( <sup>かたづ</sup> ) には、収まらない。 <sup>おさ</sup>
193. どういう ( <sup>ふ まわ</sup> ) の吹き回しなのでしょう。あの人が御歳暮を持ってくるなんて、.... <sup>ひと おせいぼ も</sup>
194. 大きくなったら、 ( <sup>おお</sup> ) ても人様のご迷惑になるような人になってはなりませんよ。 <sup>ひとさま めいわく</sup>
195. 国のお金を使い込むなんて、あの人は ( <sup>くに かね つか こ</sup> ) 総理大臣なんかではない。 <sup>ひと そうりだいじん</sup>
196. 悲しみの ( <sup>かな</sup> )、泣くこともできず、無表情で座り込んでしまった。 <sup>な むひょうじょう すわ こ</sup>
197. 所得税の減税をする ( <sup>しょうとくぜい げんぜい</sup> ) で、その財源確保のために消費税を増税した。 <sup>ざいげんかくほ しょうひぜい ぞうぜい</sup>
198. こうなった ( <sup>おも き</sup> ) は、思い切ったリストラをして、経営を立て直すしかない。 <sup>けいえい た なお</sup>
199. 飲み ( <sup>の</sup> ) のコーヒーをコンピュータの横に置いて仕事をしていたら、こぼしてしまった。 <sup>よこ お しごと</sup>
200. 超能力で犯人を捜し出せるなどというのは、信じ ( <sup>ちょうのうりよく はんにん しが だ</sup> )。 <sup>しん</sup>

## 日本語のイディオムと文型 ( 201 – 210 )

なまえ \_\_\_\_\_

201. 寒さを ( <sup>さむ</sup> ) ともせず、彼は <sup>かれ</sup> <sup>うすぎ</sup> <sup>で</sup> 薄着で出かけていった。
202. その選手にとって、100勝 <sup>せんしゅ</sup> <sup>しょう</sup> <sup>すうじ</sup> という数字は ( <sup>つうかてん</sup> ) 通過点にすぎないだろう。
203. 若者言葉は貧弱 <sup>わかものことば</sup> <sup>ひんじやく</sup> <sup>りゅうこうご</sup> <sup>と</sup> だ、流行語など取るに ( <sup>かんが</sup> ) と考 <sup>ろうか</sup> えるのは老化 <sup>おとな</sup> <sup>へんけん</sup> した大人の偏見だ。
204. 金をかければ、必 <sup>かね</sup> <sup>かなら</sup> ずよいものができるという意見 <sup>いけん</sup> があるが、私 <sup>わたし</sup> たちはこれには賛成 <sup>さんせい</sup> し ( <sup>き</sup> ) 。
205. その彫刻家 <sup>ちようこくか</sup> は、何 <sup>なに</sup> ( <sup>いま</sup> ) として今 <sup>かんべき</sup> までに完璧 <sup>じっかん</sup> だと実感 <sup>さくひん</sup> できる作品 <sup>さくひん</sup> はなかったという。
206. その店 <sup>みせ</sup> は猫 <sup>ねこ</sup> の額 <sup>ひたい</sup> ほどの店 <sup>みせ</sup> で、客 <sup>きやく</sup> が五人 <sup>ごにん</sup> も入れ <sup>はい</sup> ば身動き <sup>みうご</sup> が ( <sup>き</sup> ) なる。
207. 彼の死 <sup>かれ</sup> <sup>し</sup> は「私 <sup>わたし</sup> が ( <sup>だれ</sup> )、誰 <sup>た</sup> がやる」といって、立ち上 <sup>あが</sup> がった矢先 <sup>やさき</sup> の不幸 <sup>ふこう</sup> であつた。
208. その選手 <sup>せんしゅ</sup> は、プロ野球界 <sup>やきゅうかい</sup> の表 <sup>おもて</sup> も裏 <sup>うら</sup> も知り ( <sup>し</sup> ) いるつもりだったが、裏方 <sup>うらかた</sup> で自分たち <sup>じぶん</sup> を支え <sup>ささ</sup> ている人々 <sup>ひとびと</sup> の存在 <sup>そんざい</sup> にはまったく気がつかないでいた。
209. 黒い袋 <sup>くろ</sup> <sup>ふくろ</sup> で中身 <sup>なかみ</sup> が見えないのを ( <sup>み</sup> ) ことに、危険物 <sup>きけんぶつ</sup> や非常識 <sup>ひじょうしき</sup> な汚物 <sup>おぶつ</sup> を平気 <sup>へいき</sup> で捨て <sup>す</sup> てる人が後 <sup>ひと</sup> をたた <sup>あと</sup> なかった。
2010. 世界遺産 <sup>せかいいさん</sup> としての保存 <sup>ほぞん</sup> を訴 <sup>うった</sup> える被爆者 <sup>ひばくしゃ</sup> の声 <sup>こえ</sup> を ( <sup>き</sup> ) に、ヒロシマを伝える <sup>つた</sup> えるものが消えてゆ <sup>き</sup> くところであつた。

# 日本語のイディオムと文型 ( 211 – 220 )

なまえ \_\_\_\_\_

211. ちゅうていど ごうう 中程度の豪雨であったが、たんじかん 短時間であったために各地で川が氾濫したと ( )。
212. か ( ) け 消し、か ( ) け 消して、さくひん し あ 作品を仕上げていった。
213. や ざけ いっしょう 焼酎で一升ビンの酒を飲み干そうと思っても、ひごろ の わたし の ( ) の ( ) 飲ん ( ) 飲ん ( ) なくならない。
214. はや う あ 早く打ち明ければ ( ) のに、まだ言えないでいる。
215. つか 疲れきって、ぐっすり寝込んでいる ( ) お 起こされ、きげん わる 機嫌が悪くなった。
216. ふたり さっか この二人の作家は、( ) もなく ちゅうけん じつりよくは な は 中堅の実力派の名に恥じない小説家であった。
217. さんにん こども 三人の子供たちは、おも ( ) いちねん たの おも で にっき つづ にこの一年の楽しかった思い出を日記に綴った。
218. こんばしょ しょにち によこづな 今場所は初日から二横綱が ( ) はらんつづ まくあ 、やぶれるという波乱続きの幕開けであった。
219. じっけん すうかい く かえ 実験を数回繰り返したところ、ちやつか ( ) ひ き すぐに火は消えることが分かった。
220. さき この先どのようにするかは、( ) けつてい ほうあん もと けんとう に決定した法案を元に検討するとのことであった。

## 日本語のイディオムと文型 ( 221 – 230 )

なまえ \_\_\_\_\_

221. そんな大変なたいへんことになっているとは ( ) 知らず、家でゆっくりビールでも飲のんでいました。

222. 父が事故じこにあったと聞いて、( ) 立たつてもいられず、すぐに飛行機ひこうきに飛とび乗のった。

223. とても難むずかしいとは思おもいますが、あきらめずに、( ) でやってみましょう。

224. いいとは思おもうけれど、高たかい品物しなものなので買かってもいいかどうか、かみさんに聞きいてみない ( ) 。

225. そんなにやすやすと子こ供ども( ) の手てには乗のるもんか。

226. その歴史的瞬間れきしてきしゆんかんをじつと息いきを ( ) テレビで見ていました。

227. 水着みずぎのデザインが古ふるくさかったので、失礼しつれいだったかもしれないが、笑わらわずには ( ) 。

228. 自じ分のことぶんで ( ) 一いっ杯ぱいなのに、これ以上いじょう、他ほかの人ひとの世話せわなんてできません。

229. 子こ供どもが喜よろこぶのはいいことだが、こんなにはしゃぎすぎるも考かんがえ ( ) だね。

230. 今晩こんばん( ) に待まった初はつの世界陸上日本開催せかいりくじょうにほんかいさいにわくわくドキドキしている。

# 日本語のイディオムと文型 ( 231 – 240 )

なまえ \_\_\_\_\_

231. それがいいかどうかは、時<sup>とき</sup>と場合<sup>ばあい</sup>に ( )。
232. 彼<sup>かれ</sup>には絵<sup>え</sup>を見る<sup>み</sup> ( ) がありますね。
233. 物理学者<sup>ぶつりがくしゃ</sup>が明<sup>あき</sup>らかにしようとしているものは、何<sup>なに</sup>を隠<sup>かく</sup>そうわれわれが日常的<sup>にちじょうてき</sup>に生<sup>い</sup>きているこの自然<sup>しぜん</sup>界<sup>かい</sup>に ( ) ならない。
234. 先週<sup>せんしゅう</sup>「私<sup>わたし</sup>の仕事<sup>しごと</sup>で日本<sup>にほん</sup>の政治<sup>せいじ</sup>をきつとよくして ( ) ます」と言<sup>い</sup>っていた政治家<sup>せいじか</sup>が、今日<sup>きょう</sup>、汚職<sup>おしょく</sup>事件<sup>じけん</sup>で逮捕<sup>たいほ</sup>された。
235. 「( ) 1名<sup>めい</sup>いろいろうるさいことをいう人<sup>ひと</sup>がいますので、あまりやりたくはないけれどもやりました。」「それって、わたしのこと？」
236. 結婚<sup>けっこん</sup>って ( ) から見て<sup>み</sup>いる分<sup>ぶん</sup>には、幸<sup>しあわ</sup>せいっぱいに見<sup>み</sup>えるけど、実際<sup>じっさい</sup>に結婚<sup>けっこん</sup>する人<sup>ひと</sup>の立場<sup>たちば</sup>になってみると、結構<sup>けっこう</sup>めんどうなこ<sup>こと</sup>ばかりだ。
237. 彼は決<sup>かれ</sup>して人前<sup>けつ</sup>で泣<sup>ひと</sup>き ( ) を漏<sup>も</sup>らすような人<sup>ひと</sup>ではない。
238. 国<sup>くに</sup>の政治<sup>せいじ</sup>の目的<sup>もくてき</sup>は首相<sup>しゅしやう</sup>の ( ) を立<sup>た</sup>てることではないはずだ。
239. 結婚<sup>けっこん</sup>式<sup>しき</sup>が終<sup>おわ</sup>ったばかりで ( ) なんですけれど、実<sup>じつ</sup>は、きのう、私<sup>わたし</sup>たち<sup>あか</sup>に赤<sup>あか</sup>ちゃんができたことがわかりましたので、ご報告<sup>ほうこく</sup>させていただきます。
240. 昨日<sup>きのう</sup>、思い<sup>おも</sup>も ( ) ところ<sup>ところ</sup>で、なつかしい人<sup>ひと</sup>に出<sup>で</sup>会<sup>あ</sup>った。

## 日本語のイディオムと文型 ( 241 – 250 )

なまえ \_\_\_\_\_

241. 会社は倒産し、大きな借金を抱えて、妻には離婚され、何をどうすればいいのか ( ) に暮れてしまった。
242. 新しく買ったブーツを ( ) もあろうに、雨の日に覆くことになるなんて、まったくついていない。これなら、ゴムの長靴でもよかった。
243. 私は子供の時、あまのじゃくで、ひねくれていて、 ( ) のつけられないいたずらっ子だった。
244. 言いたいならば、はっきり言えばいいのに、いつも ( ) に物のはさまったような言い方をする人だ。
245. 事態が深刻にならないうちに、早急に次の ( ) を打つ必要がある。
246. ( ) が漫才師の言ったことに腹を立てる評論家の方がばかである。
247. 仕事はもう一晩もあれば、完成だろうと ( ) を括っていたのが、大失敗だった。
248. 「どこの ( ) の骨かわからん奴に、うちの娘は嫁にやらんぞ」と言っていた父が結婚式では、大泣きだった。
249. 机の上も部屋もきれいになって、準備 ( ) 、さあ、あとは明日の試験勉強をするだけだ。
250. 彼は学生時代、自分自身を ( ) 漬けの天才と呼んでいたが、それは謙遜で、彼の母親によると本当は毎晩遅くまで勉強していたそうだ。

## 日本語のイディオムと文型 ( 251 – 260 )

なまえ \_\_\_\_\_

251. 何が (                      ) でもこの仕事はやり遂げなければならない。

252. 高級品は長く使うものですから、派手な色や奇抜なデザインを避けて、(                      ) が来ない色やデザインを選んだ方が無難ですね。

253.





## 第3章 解説編

例文、解説、小練習、関連事項を掲載した解説編である。練習編と同様、10の表現が1回分として使えるようになっている。

## 日本語のイディオムと文型：1－10

1. 傘を持って来ない日に  A  雨が降るから、天気予報はまるで  B 。

☐ A 限って; B 当てにならない

◆ 「～に限って」〈その時はいつもちょうど悪く... 「限る」とは一般的には「ある状況のときだけ」と条件を限定する。

- 予習していないときに限って、先生に当てられる。
- 忙しいときに限って、友達から電話がかかる。
- 勉強していないところに限って、試験にでる。
- 部屋が散らかっているときに限って、来客がある。

2. 今日寒いけど、それでもきのうほど \_\_\_\_\_。

☐ 寒くない

◆ 文型「～ほど... ない」。また、「が」の前が普通体であることから考えて「寒くありませんでした」は誤りとなる。

※ 「今日も」の「も」から「きのうも寒かった」を読み取ること、「きのうほど」の「ほど」から比較した結果「... ではない」を予測できることが必要。これが「きのうより」だったら、どうなるか。

- 今日寒いけど、それでもきのうより \_\_\_\_\_。
- 昨日と今日と単語を入れ換えたらどうなるか。
- 昨日も寒かったけど、それでも今日ほど \_\_\_\_\_。
- テンスに注意

3. 私はやると言ったからには最後まで \_\_\_\_\_。

☐ やる／やりぬく／やらなければならない／がんばる 等

◆ 文型「～からには... する」〈～した以上は（そういう条件であるから）、当然... する〉という意味。「～から... する」〈～ので（その結果）、... する〉で「には」がはいると意味が異なってくる。

▽ 他の答えの可能性チェック... やるべきだ/やるつもりだ/? やってみたい

※ 「～る（ます）」「～ない（ません）」（意志動詞 非過去）の主語が「私」の場合は強い意志表現となる。～べきだ、～つもりだの方がより間接的な表現。

4. 鍵が \_\_\_\_\_ いるから、どこかへ出かけたのでしょうか。

☐ 掛かって

◆ 自動詞と他動詞の使い方に注意

- 鍵がかかっている.... 鍵がかかる
- 鍵をかけてある .... 鍵をかける

5. どんよりと曇った、今にも \_\_\_\_\_ 天気だ。

☐ 降りそう

◆ 「どんよりと」空が重苦しく曇っているようす。また元気がなくてぼんやりした様子もいう。（目つきがどんよりとしている）「今にも～そう」

- 今にも落ちそうな荷物
- 今にも倒れそうな老木

※ 名詞修飾のとき「～そう」となることに注意。「今でも」... 以前もそうだったが、今もなおという意味。

- 10年前に別れたのに、今でも彼女が好きで忘れられない。

6. 何が \_\_\_\_\_ さっぱりわからない。

☐ 何だか／何か／何やら

◆ 「なにがなんだか」それが何であるか、事情が全くわからない様子を言う。「さっぱり」にはいろいろな意味があり、味が油が少なく、甘味や塩味も強くない。／この料理はさっぱりしている。「さっぱりわからない」で〈全然わからない〉の意味。きれいになって気持ちのよい様子／長い髪を切ってさっぱりしたね。

7. \_\_\_\_\_ 窓の外を見ると、木の葉が赤く染まっていた。

☐ なんとなく／なにげなく／なんとはなしに／ふと

◆ 「窓の外を見た」その状況によって、いろいろな副詞が考えられる。「なんとなく／なにげなく」「なんとはなしに」：自分がそうする理由はわからない、理由はないけど、という意味。

● あの人のことがなんとなく気になる。

→ 「ふと」：そうしようと意図したわけではないけど、という意味。

● 明日が田中さんの誕生日だとふと気がついた。

→ 「たまたま」「偶然」

● 電車の中で田中さんを知っている人に偶然会った。

※ 隣の部屋でなんだか大きな音がしたので、私は心配になった。「辺りがそうなっている原因はわからないが、」この場合「なんとなく」はおかしい。

8. 秋も深まり朝晩めっきり \_\_\_\_\_ が、その後いかがお過ごしでしょうか。

☐ 冷え込みます／寒くなりました

◆ 「めっきり」の意味は、“あたりの気候や様子、容姿などが前よりずっと変化した”ことを表す言葉。

● めっきり白髪が増えた。

◆ 「冷え込みます」は今も毎日朝晩「冷え込む」ので過去形ではない。「寒くなりました」は完了で、“もう寒くなってしまった。そして今は寒い”という意味。

9. 読むことは \_\_\_\_\_ が内容はよくわかりませんでした。

☐ 読みました

◆ 文型「～ことは～が、」の意味は〈一応～する／したが、十分ではない〉。そのため、目的が達せられないという意味。ここでは文章の最後が「ました」なので \_\_\_\_\_ の中も「～ました」にする。

※ 同じ意味を表すのに「～には～が」(読むには読みましたが...)がある。

● 目を通すには通したんですが、よくわかりませんでした。

● 会場に行くことは行ったんですが、会えませんでした。

10. 彼は知っていたくせに \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ をして私に教えて \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_。

☐ A 知らないふり、知らぬ振り、知らぬ顔; B くれなかった、くれませんでした。

◆ 「～くせに」は「～のに／～にもかかわらず」の意味。しかし、

1) 私のを使った くせに、 お礼も言わない。

2) \_\_\_\_\_ のに

3) \_\_\_\_\_ にもかかわらず

1) 雨が降っている ×くせに、 傘もささずに立っている。

2) \_\_\_\_\_ ○のに

3) \_\_\_\_\_ ○にもかかわらず

※ 「1)... くせに、2)…」の場合、1)の主語は「私」以外の人。そして、「私」はその主語を非難する気持ちが強い。もし主語を「私」とすると、これは「私」を第3者のように突き放して、非難している感じとなる。

## 日本語のイディオムと文型： 11 – 20

11. どんなに流れが \_\_\_\_ 魚は川をのぼって行く。

☐ 速くても/急でも、

◆ 「どんなに～ても/いくら～ても」が日常用語なのに対して「いかに～ても/いかに～とも」は硬い文章用語。

- どんなに/いくら/いかに 国へ帰りたいたと思っても帰れない。
- どんなに（様子をどのようににしても）
- いくら（回数頻度/程度を多くしても）

◆ 川の源流に行くことを「のぼる」という。反対は「くだる」これは電車の進行方向とも同じである。

12. 彼女は毎日一日も \_\_\_\_\_ 働いた。

☐ 欠かさず/休まず

◆ 欠く/欠ける

- 勉強した漢字は一字も欠かさず覚えています。
- 彼は頭はいいけど常識に欠ける。/が欠けている。/を欠いている。
- この皿は大好きだったのに、ちょっと欠けてしまった。
- 一言ももらさず聞いた。（「～ず」）

13. 向こうに無事に \_\_\_\_\_ すぐ電話をください。

☐ 着いたら、届いたら

◆ 「～たら」「～と」の使い方の区別、復習すること。向こうに着かないと電話できないから、「～た→～たら」という完了を表す言葉を使う。「～と」の後ろは意志を表す表現はできない。

× ～と、～ください/～しよう/～ませんか。

14. もう春だというのに、まるで冬の \_\_\_\_\_ 寒さです。

☐ ような

◆ 「まるで～のような〈名詞〉/まるで～のようです。」

- 今日はまるで夏みたいに暑い。(as if ～)
- まるで夢でも見ているみたいで信じられません。(as if ～)
- あの人はまるで子供のよう到我儂な人です。\*本当はそうではない。
- お酒を飲み過ぎて、夕べのことはまるで覚えていない。(全然～ない)
- 本人と写真はまるで違う。

15. 少し頭が痛いけれど、今日は試験があるから、どうしても学校へ行かない \_\_\_\_\_。

☐ わけにはいかない

◆ ある理由があつて、〈～することができない〉という意味を表す。

- 皆が会費を払っているのだから、私だけ払わないわけにはいかない。私にも払わせてください。

- 今更この工事を中止するわけにはいかない。
- わたしが責任者だから、この会議を欠席するわけにはいかない。
- いくら高くても、授業で使うのだから買わないわけにはいかない。
- 「父が病気なもので、大学をやめました。」「ああ、そういうわけで、やめたんですか。」

16. あした田中さんに会ったら、私に電話する \_\_\_\_\_。

☐ ように伝えてください/ように言ってください

◆ ～ように言って/伝えてください \*伝言するとき使う表現

- 田中さんに早く 来るように/来いと 言ってください。
- 後ろにいて、黒板の字がよく見えない人は、前の席が空いているので、前の方に座るようにしてください。
- 試験に合格するように、試験勉強をしています。
- 専門の本を借りるために、図書館に行きました。
- ×ように

17. 今度失敗したら、もう研究を続けることは \_\_\_\_\_ を得ないだろう。

☐ あきらめざる／断念せざる

◆ 「～ざるを得ない」～したくないけれども、しかたなく～しなければならない。

- せっかく招待してくれているんだから、忙しいんだけど、行かざるをえない。

18. いくらたくさん \_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_ 太るとはかぎりません。

☐ 食べても／食べたからといって

◆ 時間をかけたからといって、いいものができるとはかぎらない。

- いやだからといって、やらないわけにはいかない。

☐ 必ずしも

◆ 必ずしも～ない

- 必ずしも金持ちが幸せとは限らない。
- 必ずしも成績のいい人が頭がいいというわけではない。

19. 高い所に登れば \_\_\_\_\_ ますます山の上の空気は少なくなります。

☐ 登るほど

◆ ～ば、～ほど

- この人の書いた小説は読めば読むほどおもしろくなる。
- ※ ますます〈程度が増加していつて、前よりもずっと〉

20. 私は \_\_\_\_\_ といえば、肉より魚のほうが好きです。

☐ どちらか

◆ 「～どちらかといえば」というと、〈両方～だが〉という意味になる。この場合は「私は肉も魚もどちらも好きですが、強いて言えば、」

## 日本語のイディオムと文型：21 – 30

21. 文法書 \_\_\_\_ 文法書はすべて目を通しましたが、どこにもそんなことは書いてありませんよ。

☐ という

◆ 「～という～は、」で、〈全部、全て、残り物もなく〉という意味がある。

- お祭りで道路という道路は人々でいっぱいだ。
- その村の男という男は戦争に行ってしまったので、女が働いた。

◆ 「目を通す」〈時間をかけないで、大体おおまかに見る／読む〉

- この書類なんです、ざっと 目を通しておいってください。
- さっと

22. 研究に研究を \_\_\_\_、やっと実験の結果が出ました。

☐ 重ね／重ねて

◆ 「～に～を重ねて」〈そのことを、たくさん頑張つてやつて〉

- 努力に努力を重ねて
- 練習に練習を重ねて
- 訓練に訓練を重ねて
- 調査に調査を重ねて

◆ 「やっと」…期待していたものが実現するときの気持ちを表す。長い時間待った、実現に長い時間がかかった、という気持ちが入っている。「ようやく」

23. 植物にとって日光と水分と二酸化炭素は生育に \_\_\_\_\_ ないものである。

☐ なくてはなら／なければなら／欠かせ

◆ 意味は〈どうしても必要だ〉

- 今やコンピュータは人文系の学問にも欠かせないものになった。

24. 子どもの時の癖が \_\_\_\_\_ に直らない。

☐ いまだ

◆ 意味は〈今でもまだ〉「まだ」を使うときは「に」が要らない。

\* 子供のときの癖がまだ直らない。

25. 同じ買う \_\_\_\_、安くて良いものが買いたい。

☐ なら

◆ 「同じ～なら」「どうせ～なら」 〈何かをする状況になった場合に、さらに、その内容を限定する〉気持ち

- どうせ日本語を勉強しなければならないんなら、一生懸命やろう。
- どうせ行くのなら、自分のだけじゃなくて、私のも買って来て。
- 同じ勉強するなら、もっときちんとやったほうがいい。

- 同じカラオケで歌うなら、歌い放題のところで歌いたい。

26. こんな成績では \_\_\_\_\_ いい大学には入れない。

☐ とうてい

- ◆ 「こんな～では」「このような～では」という場合は（一）の気分。～は良くないものである。従って、「こんな成績では」は「こんな悪い成績では」という意味。

- こんなに忙しいんでは、家族とゆっくりすることもできない。
- こんな給料では、暮らせない。
- こんなに暇なら、夏休みにゆっくり旅行ができる。

- ◆ 「とうてい～ない」〈努力しても、とても～ない／無理だ〉という意味。

- 都心の便利な所にはとうてい家は買えない。

27. 人間の \_\_\_\_\_ だから、間違うのは当たり前だ。

☐ やること

- ◆ 「やること」は何をするという問題ではなくて、この時の意味は〈行為〉という意味。「人間のやること」は決まり文句。

- 子供のやることだから、どんな結果になるかわからない。
- 私のことだから、また失敗するかな。
- あの人のことだから、きっと成功するに違いない。

- ◆ 「当たり前だ」〈当然だ 普通だ〉

28. 日本は公園が少なすぎると言われているが、果して \_\_\_\_\_ か。

☐ 本当だろう

- ◆ 「はたして～か」で〈本当はどうかわからない〉という気持ちを表す。

- この絵は果して本物だろうか。
- 田中さんは果して来るだろうか。
- こんなことで、果して間に合うのだろうか。

29. 今回は少なかったが、次回は \_\_\_\_\_ 多くの人に来てもらいたいものだ。

☐ ぜひ／ぜひとも／なるべく／できるだけ

- ◆ 「ぜひ」は〈実現したい／してほしい〉という気持ちを強く表す言葉。「なるべく／できるだけ」は〈可能な限り一番（多く）〉の意味。

- ぜひお遊びにいらっしゃってください。
- なるべく早く論文を仕上げたいと思っています。
- ぜひともお目にかかって、ご相談したいことがあります。
- できるだけお金を使わないで貯めるようにしよう。

30. 非常に残念なことだが、彼が犯人と \_\_\_\_\_ をえない。

☐ せざる／考えざる

- ◆ 〈考えたくないけれども、しかたがない〉という気持ち。

## 日本語のイディオムと文型： 31 - 40

31. 休養があつて   A  、人間の生活は   B  。

☐ A はじめて; B 営まれる ◆ 文型「～てはじめて、... する」は〈～なければ、... できない〉の意味。

- 病気をしてはじめて、病人の気持ちが分かるようになった。
- みんなの協力があつてはじめて、地域の生活は快適になります。

\* 「はじめに」との違いにも注意。

- はじめにAのボタンを押して、次にBのボタンを押してください。

☐ B 営まれる 「生活を営む」はイディオム（連語）。「営（いとな）む」読み方注意。 会社を営む＝会社を経営する

- 休養があつて（こそ）、人間の生活は（成り立つ）。

32. わざわざ日本へ来て、日本語を勉強しないのは来た \_\_\_\_\_

☐ 甲斐（かい）がない／意味がない ◆ 「甲斐がない」は〈～した価値がない〉

- せっかく料理を作ってたのに、彼は来なかった。作った甲斐がなかった。

- 美術館に行ったが、その日は休館日で、行った甲斐がなかった。

◆ 「わざわざ」は〈しなくても済むのに、苦勞して〉の意味がある。

- わざわざおでかけくださいまして、申し訳ありません。
- わざわざすみません。
- わざわざ誘いにいったのに、彼は先に出かけてしまっていた。

33. どこかへ旅に行きたくなるが、別にどこというきまった \_\_\_\_\_ はない。

☐ あて ◆ 頼みにして（期待して）いいところ／もの／こと、目的

- お正月にお金がたくさんもらえると思っていたが、思っているより少なく、あてが外れてしまった。
- どこへ行くというあてもなく、ぶらぶら歩いた。
- 人の懐（ふところ）をあてにして、お酒を飲むなんて。

34. 東北線の全列車はスキー客で \_\_\_\_\_ づめだ。

☐ すし／ぎゅうぎゅう ◆ 「すし詰（づ）め」「ぎゅうぎゅう詰め」は〈もうこれ以上入らないほど中がいっぱいな様子〉。

- 連休の新幹線はすしづめの混雑だった。
- 木村先生の授業は人気があつて、いつも教室はすしづめだ。

\* 「かんづめ」〈ある場所に閉じ込められる様子〉

- 電気系統の故障で、新幹線に5時間も缶詰になった。
- 人気作家はホテルに缶詰で、原稿を書くらしい。

35. 誰に笑われようと \_\_\_\_\_。

☐ かまわない／気にしない／気にならない ◆ 気にする／気にかける／気になる／気を配る／気を遣う

☆ 練習

1. 隣の部屋で音がすると、\_\_\_\_\_ て、眠れない。
2. 私はときどきはつきり言いすぎるようですけど、\_\_\_\_\_ ないでくださいね。
3. わたしのことをいつも \_\_\_\_\_ てくださって、ありがとうございます。



◆ 「～ようと、... ない」は〈～しても、自分には関係なく、... する〉「～ようと、～まいと、...」という文型もある。

- 誰が反対しようと、私たちは結婚します。
- 親が反対しようと、しまいと、私たちは結婚します。
- 誰が行こうと、私には関係ない。
- あなたが行こうと行くまいと、私には関係ない。

\* 行こうかいまいかと、迷った。

36. 安心する \_\_\_\_\_ か心配で夜も眠れません。

☐ どころか

◆ 「Aどころか、B」は〈決してAではなく、むしろBだ〉の意味。Aするのは当然なのに、そのAもしない。そしてAと逆行するBをする。

- あの人は、お礼を言うどころか、我々の悪口をいって帰って行きました。
- 試験が近づいているのに、勉強するどころか、\_\_\_\_\_。
- 手紙どころか、\_\_\_\_\_。

37. この雨は一昨日から \_\_\_\_\_。

☐ 降り続いている

◆ 「～つづける」でその動作・状態が継続していることを表す。

- 飲みつづける ● 立ちつづける ● 眠りつづける
  - 書きつづける ● 行きつづける ● 使いつづける
  - 電話が鳴りつづける
  - 日本では、定年まで同じ会社で働き続ける人が多い。
- \* 雨がふりつづいている（例外）

38. 秋の静かな夜などには、亡くなった母のことが \_\_\_\_\_。

☐ 偲ばれる／思い出される

◆ 「偲ばれる」「思い出される」の「れる」は自発。自然にそんな気持ちになるということ。「偲ぶ」は〈なつかしく思い出す〉の意味で、亡くなった人のことを懐かしむときによく使う。

- 命日に故人を偲んで、友人が集まった。
- ふるさとに帰ったがすっかり変わってしまっていて、昔を偲ぶものが何も残っていなかった。

39. 閉めたはずの扉が \_\_\_\_\_。

☐ 開いている／開いていた

◆ 読み方 あいている／ひらいている

◆ 自動詞と他動詞 — 日本語の自動詞と他動詞は、いくつか難しい点がある。

1. ダイアルを回したけれども、回らなかった。
2. 電話をかけたけれども、かからなかった。
3. ドアを閉めたけれども、閉まらなかった。

40. こんなおもしろい映画はめったに \_\_\_\_\_。

☐ 見られない／ない

◆ 頻度の副詞「めったに～ない」はその回数が少ないこと。

- 全然～ない ● めったに～ない ● たまに～する ● あまり～ない ● ときどき～する ● よく～する

## 日本語のイディオムと文型： 41 – 50

41. 何も強い \_\_\_\_\_ が男ではない。優しくなければ男ではない。

☐ ばかり／だけ

◆ 「ばかり」バランスを欠いて、どちらかに偏ってしまった状態を表す「だけ」=just only not more than

- 母親：ごはんばかり食べないで、おかずもたべなさい。
- 子ども：はい。
- 節分の豆まきでは歳の数だけ豆を食べる。
- 今日の会議は山下さんだけ欠席だ。
- 子供だけで、一晩過ごして大丈夫かな。
- 何度も同じことばかり言うようになったら、歳を取った証拠だ。

42. その動物は気温が上昇するに \_\_\_\_\_ 体温も上昇するそうです。

☐ つれて／つれ／従って／従い

◆ 〈A〉が変化すれば、〈B〉もいっしょに同じ程度変化する

- 上昇する のに とまって／とまない
- 上昇する のに とまって／とまない
- 上昇する につれて／に従って
- 上昇する につれ／に従い
- 収入の増加に とまって 支出も増える。
- 収入の増加に とまない 支出も増える。
- 収入が増加する につれて、支出も増える。
- 収入が増加する につれ、支出も増える。
- 台風に伴う被害が報告された。

43. 初めは易しかったが \_\_\_\_\_ 難しくなってきた。

☐ だんだん

◆ 「だんだん」はその程度が少しずつ変わること。「どんどん」はあとからあとから続くようす。

- どんどん雪がふり続いている。
- だんだん暖かくなってきましたね、もうすぐ春です。
- どんどん召し上がってください。
- どんどん留学生の数が増えてきた。
- だんだん留学生の数が増えてきた。

44. \_\_\_\_\_ 4人いるから、マージャンをしましょう。

☐ ちょうど

◆ just

- ケーキがちょうど5つあるんだけど。みんなで食べよう。(5人いる)
- あ、ちょうどいいところへ来たね。

45. 郵便局へ行く \_\_\_\_\_ にスーパーへ行って買物をしてきてください。

☐ ついで

◆ 「郵便局へ行く」のが中心で、その時、スーパーへ寄る。「～がてら」

- 郵便局へ行きがてら、スーパーによって買物をする。
- 中国に行くついでに、韓国にも行く。
- 研究室に行ったついでに、図書館にも行った。

46. この絵は見れば \_\_\_\_\_ いい味がある。

☐ 見るほど

◆ 文型「～ば～ほど」

- 食べ物や飲み物は噛めば噛むほど、体にいいそうです。

◆ 味

- 甘い味がする。(食べ物)
- あの人の言葉は味のある言葉だ。(意味の深い言葉、心を引かれることば)
- 50歳になって、あの役者は味のある芸をするようになった。(深い味わいのある芸、心に訴える印象の深い芸)

47. 明日は定休日なので \_\_\_\_\_ させていただきます。

☐ 休ませ

◆ 「使役形 て いただきます」は自分が相手に許可をもらって何かをするときの言い方。謙譲表現

- ここで、待たせていただいてもよろしいでしょうか。
- ちょっと、考えさせてください。
- もう少し考えていただきたいんですが。\*
- もっと考えてもらいたいです。
- もっと考えてほしいんです。
- もっと考えてください。

48. 今すぐ連絡したいのだが、\_\_\_\_\_ 彼の電話番号がわからない。

☐ あいにく

◆ 話し手(話者)の「ちょうど運悪く」という気持ち。

- せっかくのパーティなのに、田中さんはあいにく病気になってしまって、行けなくなった。
- 「あいにく」と思っているのは誰ですか？

49. 彼はいつもおもしろい話をして私たちを \_\_\_\_\_。

☐ 笑わせる

◆ 自動詞「笑う」には対応する他動詞がないので、使役の形の「笑わせる」を他動詞として使っている。

50. 山火事でたくさんの木が \_\_\_\_\_ てしまった。

☐ もえて

◆ もえる→←もやす

## 日本語のイディオムと文型： 51 – 60

51. 水 \_\_\_\_ あれば、二、三日ぐらい生き延びることができる。

☐ さえ

◆ 「さえ」最低の例、または最高の例を示して、そこから、全体の状況を示す時に使う。

- 「でも」いくつかの事物の中から、ある一つを例としてあげる。
- 「ばかり」バランスを欠いて、どちらかに偏ってしまった状態を表す
- 「だけ」=just only not more than
- この料理は子どもでさえできます。(→この料理は誰でもできる簡単なものです。)
- 新聞さえ読む時間がない。(→本を読んだり、映画を見たりする暇もない。とても忙しい。)

52. どんなにつらくても最後まで努力し \_\_\_\_\_ なければなりません。

☐ つづけ

◆ 文型「どんなに／いくら ～ても」 副詞の「たとえ」をつけてもいい。

- たとえどんなに辛くても、がんばります。
- たとえいくらお金があったとしても、そんな高価なものはいいたくない。
- いくら頼んでも、聞いてはくれなかった。

53. 事故は \_\_\_\_\_ ことはなさそうだ。

☐ たいした

◆ 「たいした」は〈驚くほどの〉の意味。「たいしたことはない」→「たいして」副詞〈とりたてて言うほど〉

- A：怪我（けが）はどうですか。B：いやあ、たいしたことはありません。
- 雨が降っているけど、たいしたことはない。
- 政局が混迷しているが、日本経済にたいして影響しないだろう。

54. これはほんのお礼の \_\_\_\_\_ です。

☐ 印、気持ち、

◆ 「ほんの」はその量が少ないこと。謙遜の気持ちを表す。「印」は〈形だけですけれども〉で、これも謙遜の気持ち。

- － これはお詫（わ）びのしるしです。〈相手にあやまるときのプレゼント〉
- － これは感謝のしるしです。〈感謝のプレゼント〉

55. 少し高いと思いましたが、\_\_\_\_\_ て、買うことにしました。

☐ 思い切って

◆ 「思い切って」は〈大決心をして〉の意味。＊「清水（きよみず）の舞台から飛び降りる思いで」というのは〈非常な大決心をして〉という意味。→清水の舞台から飛び降りる思いでした。(It was a leap in the dark.)

- － 長い髪に愛着はあったのだが、暑くなったので思い切って短く切った。

- － 質問するのは恥ずかしかったが、思い切って聞いてみた。
- － このマンションは清水の舞台から飛び降りる思いで、借金して、買ったんです。

56. 手のひらを \_\_\_\_\_ ように彼の態度が変わった。

☐ かえす、かえした

◆ 文型「手のひらを返す」は決まり文句。人間の態度が急に変わってしまうこと。

- － 私に財産がある間はよく遊びにきていたのに、財産のなくなった今では、手のひらを返したように、知らん顔だ。
- － 私の父が〇〇会社の社長だとわかると、手の平をかえすように親切になった。(それまでは、とても冷淡だったのに。)

57. 切符を買う人が \_\_\_\_\_ を作って待っている。

☐ 列、行列

◆ 「列を作る」「行列を作る」順番を待って、大勢の人が並ぶこと。この他、列の途中から、人が入ってきて、他の人に迷惑をかけることを「列に割り込む」という。この場合「並んで待っている」と行っても同じ。

- － 店の外まで、列を作って人が待っているのだから、ここのラーメンはおいしいのだろう。
- － 東京駅の南口は、つくば行きのバスに乗る人が長い列を作って待っている。

58. きこの先生の話は私の興味を \_\_\_\_\_。

☐ 引いた

◆ 「興味をひく」人の話が面白いと思うこと。または、何かが自分にとって面白く思えること。

練習 \_\_\_\_\_ に次のようなことばを入れてみよ。【山下さんの研究／遠藤先生の本／日本式経営】

- (a) 私は \_\_\_\_\_ に興味がある。
- (b) \_\_\_\_\_ は私の興味を引いた。
- (c) \_\_\_\_\_ は興味深い。

59. なくなったと思っていた本が机の下で \_\_\_\_\_。

☐ 見つかった

◆ 助詞が「で」の時は「見つかった」で、助詞が「に」のときは「あった」を使う。実際に今「ある」ののだが、「発見」の意味のときは過去形にする。

- － あ、わかった。
- － ああ、よかった。
- － あ、あった。(財布を捜していて、見つかったとき)
- － あ、見つかった。
- － あ、バスが来た。(今、バスが来ているのに気が付いた)

60. それは \_\_\_\_\_ 通りがかった店で見つけた掘出し物だ。

☐ たまたま、偶然、ちょうど

◆ 「通りかかる」「通りかかる」とどちらも言う。名詞になると「通りかかり」となる。〈通り過ぎる道の途中〉の意味。

- － この靴は銀座に行ったとき、通りかかきの店で見つけたんですよ。

## 日本語のイディオムと文型： 61 – 70

61. \_\_\_\_\_ して、電車の中にかばんを忘れてしまった。

☐ うっかり

◆ 「うっかり」は〈～してはいかないことを、すっかり忘れてしまって～してしまう〉ときの気持ち。これに対して、「つい」は〈～してはいけないことは十分知っているのだが、その時の雰囲気や、様子で、～してしまう〉ときの気持ち。

- 電車の中に、うっかりかばんを忘れてしまった。
- うっかりして、今日3時から会議があることを忘れていた。
- うっかりすると、見過ごしてしまうほど小さい看板ですから、注意してくださいね。
- たばこを止めようと思っているのに、人が吸っているのを見ると、つい吸ってしまいます。
- 儉約しなくてはと思っていなくても、財布にお金が入っていると、つい無駄使いをしてしまう。

62. 悲惨な交通事故を見て、背筋が \_\_\_\_\_ した。

☐ ぞっと、

◆ 「背筋がぞっとする」は決まり文句で、とても怖くなって、体中が冷たくなるように感じることに。「背筋が寒くなる」も同じ。「ひやっとする」はもうちょっとで危なかったという恐怖感を言う。

- お化けを見て、背筋がぞっとした。
- ビルの30階から下を見ると、背筋がぞっとする。
- 血の付いた刀を見て、背筋が寒くなった。
- 子どもが車に引かれそうになってひやっとした。

63. 台湾では冬でも \_\_\_\_\_ 水で顔を洗う。

☐ つめたい

◆ 冷たい / 熱い / 温かい 個体、液体（体の一部分で感じる）

寒い / 暑い / 暖かい 気体（体全体で感じる）

- 手が冷たい。水が冷たい。スープが熱い。
- 石の壁が冷たい。暖かい。部屋が暖かい。寒い。暑い。
- プールに入ったら、冷たかった。
- お風呂に入って、温まった。心が温まった。
- お湯で洗わないと、手が冷たいでしょう。

64. 子どもたちはもう独立して、その夫婦はのんびり気楽に \_\_\_\_\_ いる。

☐ 暮らして、生活して、過ごして

◆ 「暮らす」は〈生活する〉という意味。「過ごす」は〈何かをして時間を使う〉という意味 助詞が「で」であることに注意。

- 日本で暮らす。
- 夏休みは山で絵を書いて過ごしました。
- 今、筑波大の宿舎に住んでいます。

◆ 「のんびり」は〈ゆっくり気楽に〉の意味

- 足元の危ないところでは、ゆっくり注意して歩いて下さい。のんびり歩いていては、危ないですよ。
- あの人のはのんびりした性格だから、いつも遅刻しますね。
- どうぞ、ごゆっくり召し上がってください。

65. あなたに来て \_\_\_\_\_ と大変ありがたいです。

☐ いただける

◆ 「いただく」「もらう」をその本人に直接お願いしている時は、可能形を使う。

- ちょっと、待っていただけますか。
- これ、持ってもらえないかなあ。
- 黒板に書いていただけるとよく分かるんですが。←書いてください

66. ナイフで手を切って血 \_\_\_\_\_ です。

☐ だらけ、まみれ

◆ 手に血がたくさん付いている様子。「～まみれ」は〈体中に何かが付いている様子〉を言う。

- 庭で仕事をしていて、服も顔も泥だらけ（まみれ）だ。
- 書類を作るのが大変で、部屋中、紙屑だらけだ。
- 汗まみれになって、働いた。
- ちょっと庭の手入れをしなかったら、庭中、くさだらけだ。

67. \_\_\_\_\_ たてのパンはとてもおいしいです。

☐ 焼き

◆ 「～たて」で〈～たばかり〉の意味。

- 生まれたての赤ちゃんは目が見えないそうだ。
- できたての料理はおいしい。
- サラリーマンになりたてのころは、いつも緊張していて、とても疲れたものだ。
- やはり、ごはんはたきたてが一番だ。

68. 雨が降るからといって、会社を休む \_\_\_\_\_。

☐ わけにはいかない、のはよくない、ことはできない、なんて（～）

◆ 「雨が降るからといって、… 否定」は〈「雨が降るから」という理由で、「会社を休む」ということはできない〉という意味。相手が言ったり、考えたりしたことに対しても、自分が考えたことに対しても言う。

- 田中さんが家に来るからといって、\_\_\_\_\_。
- 小林先生が怒るからといって、\_\_\_\_\_。
- 部屋が暑いからといって、\_\_\_\_\_。

69. 12月になると、クリスマスに \_\_\_\_\_ 音楽が街に流れる。

☐ ちなんだ ちなむ（因む）

◆ 「ちなんだN」「ちனால்、V」という文型で、〈関係のあるN〉〈関係して、V〉という意味を表す。

- [クリスマスにちなんだ音楽] が街に流れる
- [クリスマスにちனால்]、ジングルベルが街に流れる
- 6月に生まれたので、生まれた月にちனால்、潤（じゅん）という名前をつけた。
- 彼の出身地にちなんだ音楽を演奏します。

70. 飲んではいけないとは知りながら楽しくなって、\_\_\_\_\_ 飲んでしまう。

☐ つい

◆ 「～ながら」は2つの意味がある。

- テレビを見ながらごはんを食べる。（2つの動作が同時進行）
- 子供ながら、いろいろなことをよく知っている。（～なのに、）

※ 「つい」「うっかり」については..61.

## 日本語のイディオムと文型：71－80

71. 夕焼けがきれいなので、あしたは雨が \_\_\_\_\_ ない。

☐ 降りそうも、降りそうに、降りそうにも ◆ 様態の「そう」の否定形。「降りそう（に／も）ない」という場合、意味の中に〈自分の期待とは反対に〉という意味も含まれている。

- あんなにのんびり勉強しては大学に合格しそうもない。

動詞	○～そうもない、～そうにない、～そうにもない（どれでもよい） ？～なさそうだ（あまり言わない）
イ形容詞	○～くなさそうだ ○～そうではない
ナ形容詞	○～じゃなさそうだ ○～そうではない

\*名詞のときは「～ではなさそうだ」以外は「～そうだ」に直接続かない。

- 今晚中に終わりそうにもないですね。
- 難しそうで、とても読めそうもありません。
- ここはそれほど不便じゃなさそうだ。
- あの人は田中さんじゃなさそうだ。

72. 「背中の中どこがかゆいですか。ここですか。」 「ええ、ええ、\_\_\_\_\_ です。ああ気持ちいい。」

☐ そこ ◆ 自分の体であるが、相手の方に近いと考えているときは、「そこ」を使う。

- 医者「ここ、痛いですか」（お腹の一部分を押して）
- 患者「いや、そこはあまり、痛くないです。（手で示して）こっちの方が。」

73. 言葉と文化は切っても \_\_\_\_\_ 関係がある。

☐ 切れない ◆ 「切っても切れない関係」は〈とても強い、深い関係〉

- 親子の縁は切っても切れない関係である。
- 政治家とお金は切っても切れない関係のようだ。
- 受験生と勉強は切っても切れない。

74. 一人一人の意見を聞いていたのでは \_\_\_\_\_ から、投票にしましょう。

☐ 切りがない、埒（らち）があかない、 ◆ 「切り」は〈終わり〉と考えて、「切りがない」は〈終わりがない、結論が出ない〉という意味になる。たくさんやることがあるために終わらない。「らちがあかない」は、〈決まりがつかない、どうにもならない〉という意味。

- 公式を知らずに、この問題を解こうとしたって、らちがあかない。
- こんなに大勢の中から、彼を捜してもらちがあかない。
- こんなに大勢の人を、数えるなんて、切りがないから止めましょう。
- いつまでも迷っていても切りがないから、思い切って受験してみたらどうですか。



75. 「結局、力のある者が勝つのですね。」

「ええ、人生とは \_\_\_\_\_ もんですよ。」

☐ そんな、そういう ◆ 「こ／そ／あ んなものだ」「こう／そう／ああ いうものだ」には、あきらめの気持ちが、入っている場合がある。

- 選挙しても、結果はあんなもんですね。
- 子供：「勉強したのに、あまり成績は上がらなかったよ。」
- 親：「成績なんてそんなもんよ。すぐには上がらないよ。」

76. 私は飲みたくないと言ったのに、 \_\_\_\_\_ にお酒を \_\_\_\_\_ た。

☐ 無理、無理やり / 飲まされ、飲ませられ、強いられ ◆ 「無理に」は〈できないのに、いやだと言うのに強制されて〉という意味。使役受身「～させられる」は、〈自分がしたくないけれども、誰かに言われて～する〉ときの表現。

飲む→飲ませる→飲ませられる強いる→強いられる

- 子供たちは家に帰に帰ると、親に勉強させられる。
- 私は母にレバーをよく食べさせられた。
- カラオケで歌いたくない人に、無理に歌わせるのはよくない。
- この仕事は無理やり引き受けさせられたものです。

77. あいつは俺の気に \_\_\_\_\_ ことばかり言うやつだ。

☐ さわる、くわない、いらぬ、なる ◆ 「気」に関係のある慣用表現は多い。

- 「気に障（さわ）る」は〈気分を害する〉の意
- 「気に食（くわ）ない」は〈気に入らなくて不愉快だ〉の意味
- 「気に入（い）らない」は〈私の好みではない〉
- 「どうして、怒っているんですか。何か気に障ることを、私が言ったんだったら、謝ります。」
- あいつは気に食わないやつだ。（＝私はあの人を嫌いだ）
- 父はちょっとでも気に入らないことがあると、すぐ不機嫌になる。

78. エジプトというと、我々はすぐピラミッドを \_\_\_\_\_。

☐ 思い浮かべる ◆ 「思い浮かべる」は〈連想する〉に意味が近い。「思い出す」は、以前自分が体験したことから思ったという意味。

- 自民党というとどんなことが思い浮かびますか。
- 赤い色というと、海に沈む夕日を思い浮かべます。

79. 日本民族が、このようにして、南方から渡来したという説も、十分に \_\_\_\_\_。

☐ ありうる、考えられる、成立する、理解できる ◆ 「ありうる」は〈可能性がある。〉

- 今国会の会期での予算の成立はありえない。（否定形）
- 犯人は窓から逃げたということもありうる。

80. 友達の家へ電話したら、全然知らない人が電話に \_\_\_\_\_。

☐ 出た、出てきた ◆ 「電話に出る」で、電話をとって相手と話をすること。

- （リーンリーン）「すみません、ちょっと電話に出てください。今、手が離せないのです。」
- 今、電話に出た方は、どなただったの？

## 日本語のイディオムと文型：81－90

81. この問題は簡単なのに、誰 \_\_\_\_\_ として答えられなかった。

☐ 一人 ◆ 「誰一人として」は〈誰も..... ない〉の強調。「何一つとして」は〈何も..... ない〉

- 地震で何もかも壊れてしまって、私の思い出のアルバムなど、写真は何一つとして残っていない。
- このりんごは傷がついていて、どれ一つとして、きれいなものはない。
- 誰一人として、先生に文句を言う学生がいない。

82. 何だろうと考える \_\_\_\_\_ もなく、すぐに子供の風船が割れたのだとわかった。

☐ まで ◆ 「～までもなく、...」で、〈～ということをしなくても、... だ〉の意味。

- お金をかけて、ドレス まで 買ったのに、パーティーは中止になった。
- あの野球選手は、離婚して寂しかったために、生活が乱れ、麻薬 まで 使って、とうとう警察に捕（つか）まった。
- こんな簡単な計算は計算機を使う までもない。
- トムさんはもう日本に長いので、様子がよくわかっていますから、ついて行ってあげる までも ありません。
- こんな簡単な文法は、先生に教えてもらう までもなく 分かる。

83. あの人は35歳の働き \_\_\_\_\_ で、亡くなってしまい、大変残念です。

☐ 盛（ざか）り ◆ 「～ざかり」は「～するのが一番いいとき」という意味で、「花盛り」は花を見るのに一番いい時期。これは、働く（動詞）＋盛り（名詞）の形なので、複合動詞とはいえないが、作り方は複合動詞と同じ。

- わが家には、食べ盛りの子供が4人もいるので、食費が大変です。
- 真っ盛り ● 女盛り ● 男盛り ● 育ち盛り

84. 鈴木さんは45歳という \_\_\_\_\_ で \_\_\_\_\_ 世に別れを \_\_\_\_\_、永遠の \_\_\_\_\_ についた。

☐ 若さ／この／告げ／眠り ◆ 我々が住んでいる世界を「この世」と言う。死んでからの世界を「あの世」と言う。「別れを告げる」は〈さようならを言う〉の意味。「永遠の眠りにつく」は〈死ぬ〉の意味。

- 友達に別れを告げて、飛行機に乗った。

85. 余裕があれば、旅行に \_\_\_\_\_ 行きたいが、現実はそんなに \_\_\_\_\_ ない。

☐ でも／甘くは、楽では ◆ 「そんなに」／「それほど」は〈あなたが考えるほど〉〈私が考えているほど〉「～でも」は、いくつかの例のうちの一つを挙げる。

- お茶でも飲みたい。
- 友達にでも相談したら？

86. 大学4年間パチンコとマージャンに \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ をぬかし、\_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_ に勉強しなかった。

- A うつつ; B ろく ◆「うつつ（現つ）をぬかす」は、やるべきことをしないで、つまらないことに熱中することを言う。うつつ（現つ）←→夢

- 犯人は酒と女にうつつをぬかし、莫大な借金を作っていた。
- 友達との付き合いにうつつをぬかし、論文の準備がさっぱりできていない。
- 仕事をしているのかと思ったら、コンピュータゲームにうつつをぬかしている。
- 【「ろく（碌）に..ない」は〈ほとんど、真面目に..ない〉】
- 仕事もろくにしないで、家でごろごろしている。
- 最近の大学生は、ろくに本も読んでいない。
- 日本語をろくに勉強していないのに、日本に留学してもうまくいかない。
- そんなことをする人はろくな人間じゃないよ。
- ろくでもないやつ・ろくでなし（しょうもない人のこと）

87. あの人は、そんなことはもう経験 A なので、同じ過ちは、2度と B。

- A ずみ; B 犯すまい、犯さないだろう ◆「すみ」は漢字で「済み」と書く。「すみ」の前に、何か言葉がくると、発音は「～ずみ」となる。この他に「使用済み」「支払い済み」などがある。

- 使用済みのアルミ缶を集めてリサイクルする。
- 使用済みの乾電池はどこに捨てたらいいんですか。
- 使用済み核燃料の再処理工場が建設中だ。
- ◆ 「過ちを犯す」は慣用句。規則や、道徳にそむいたことをするという意味。
- 戦争という過ちを2度と犯すべきではない。

88. 今回の事件で両親をずいぶん \_\_\_\_\_ てしまった。

- 心配させ ◆「使役+てしまう」は主語にあたる人が原因で、その相手が何か悪い状態になることを言う。

上の例文で心配した人 両親を	その原因 事件	両親に→心配かけてしまった
-------------------	------------	---------------

- 太郎はよしこを泣かせてしまった。
- 変な質問をして、先生を困らせてしまった。
- 今回の事件でずいぶん両親に心配させられた。

上の例文で心配した人 →	その原因 →
-----------------	-----------

89. 彼だったら、常識がないので、それぐらいのことは \_\_\_\_\_。

- やりかねない / やるかもしれない / するだろう ◆「～かねない」で〈～する危険性がある〉という意味。「それぐらいのこと」はあまりよくないこと、または、つまらないことを表す。

- あの人はカンニングしかねないから、気をつけて。

90. はす（蓮）の花からは何とも \_\_\_\_\_ ほど、いいにおい（匂い）が漂っているのです。

- 言えない ◆「何とも言えないほど、～」は〈言葉で表現できないほど、（すばらしい）〉という意味。◆「何とも言えない」は〈よいか、悪いか、よくわからない〉という意味。

- 何とも言えないいい匂いが漂っているのです。（上の例文と少し違う！）
- 雅子様は何とも言えないほど、気品のある方ですね。

## 日本語のイディオムと文型： 91 – 100

91. 9時のニュースを見ようと思っていたのに、本に  A  になって、 B  てしまった。

☐ A 夢中; B 見過ごし、忘れ

◆ 「～に夢中になる」は「夢の中に入って」という意味ではない。〈～することだけに全部の気持ちが向かってしまう〉という意味。「夢中で～する」「～したときは夢中だった」のような使い方があある。

- 仕事に夢中になって、つい家へ帰るのが遅くなってしまった。
- おもしろい論文のテーマが見つかって、夢中で調べ始めた。
- 大人も子供もコンピュータゲームに夢中になっている。

◆ 「見過ごす」には次の2つの意味がある。上の例は見えていながら、そのまま見ないふりをしておく、見逃す、見損なう ← 見るときが過ぎる

- いくら自分が忙しいからといって、友達が困っているのを見過ごすわけにはいかない。
- 掲示板には大事なことが書いてあるので、見過ごさないように注意してください。

92. それまで毎日遊んでいたのに、急に人が \_\_\_\_\_ ように真面目に勉強しはじめた。

☐ 変わった

◆ 「56. 手のひらを返すように」は人間関係の中で態度が急に悪くなる場合にだけ使うが、「人が変わったように」は〈別の人間になったように〉と、いい方へも、悪い方へも性格が変わった場合、使う。上の例文では、心を入れ換えて、新しい人間になったように、という意味。

- 太郎さんは、このごろ人が変わったように仕事に意欲的だ。
- 高校時代勉強しなかった娘が、浪人したら、人が変わったように猛勉強を始めた。

93. 父はアルコール中毒なので、お酒なしでは一時（いつとき）も \_\_\_\_\_ ない。

☐ 過ごせ

◆ 「過ごす」は〈時間を送る〉〈暮らす〉の意味。

- 楽しい一時（ひととき）を過ごしました。
- みなさまいかがお過ごしですか。（手紙文）
- ドイツではブレーメンの友達の家でしばらく過ごした後、ミュンヘンに行きました。

94. 現代では家族全員そろって食事をする風景など、まず \_\_\_\_\_ ない。

☐ 見られ、お目にかかれ

◆ 「お目にかかる」は〈会う〉の謙譲語で、「お目にかかれない」というのは〈会うことができない〉という意味だが、少し批判的な気持ちで、皮肉に〈見ることができない〉という場合に、このような使い方もある。「まず～ない」はこの場合、〈めったにない〉という意味。

- 近頃、電車の中でお年寄りに席を譲る人など、めったにお目にかかれない。

95. 統計によると、全員そろって食事をする家庭はわずかに 8 % に \_\_\_\_\_。

☐ 過ぎない

◆ 「わずか (に) ~ に過ぎない」で、その量が思ったより少ないことを言う。

- 最初 30 人いたのに、最後までクラスに残ったのはわずか 5 人にすぎない。
- あの人は日本語が上手ですが、クラスで勉強したのはわずか 2 週間にすぎないんですよ。

96. 日曜日なのに、雨も降っているし、お金もないし、家で寝るより \_\_\_\_\_。

☐ ほかない

◆ 「ほかない」は〈他に方法がなく、することができるのは~だけだ〉の意味。

- 冷凍庫が故障してどんどん中のものが解け始めた。これは、どんどん料理して、食べるよりほかない。
- しまった日曜日なのにお金をおろしわすれた。これは、家でじっとしているほかない。

97. 彼はまさか外国人では \_\_\_\_\_。

☐ あるまい

◆ 「まさか~ではあるまい/~するまい」で、〈私は~だとは思わないし、事実~ではないだろう、しかし、ちょっとその自分の判断が不安だ〉という意味。

- 毎晩帰りが遅いけど、まさか不倫しているんじゃないでしょうね。
- いくら失恋したといっても、まさか自殺まではするまい。

98. \_\_\_\_\_ 声楽科の学生だけあって、普段の声もいいですね。

☐ さすが

◆ 「さすが~だけあって、...」は〈~であるから、やはり、...〉で、... の部分は positive (+イメージ) な事柄がくる。「さすが」と一言で、〈すばらしい〉の意味に使われるが、この場合は、前々からすばらしい能力の人だとはわかっていたが、やっぱりすばらしい能力だと、再確認した、という意味で誉めている。

- (いつもカラオケが上手な人の歌の後)「うまいね。さすがだね。」
- 「さすが山田さんだけあって、難しい歌が上手だね。」

99. あなたが悪いのだから、あなたが謝る \_\_\_\_\_ と思う。

☐ べき、のが当然だ

◆ 「べき」は「当然~しなければならない」の意味。

- そんなにすぐにあきらめないで。自分のベストを尽くすべきだと思うわよ。
- 国は安心して老後が暮らせるように、福祉を充実させるべきだ。

100. 1000円は  A 、10円玉  B  もないのだから、いくら  C  と言われても返せない。

☐ A おろか、もちろん; B さえ; C 返せ

◆ 「おろか」 さえも→ 51    いくら~ても→ 11

- その町は死んだように静かで、人はおろか、犬一匹きさえいなかった。
- コンピュータはおろかワープロさえさわったことがない。

## 日本語のイディオムと文型： 101 – 110

101. こんなに激しい雪では、出かけようにも \_\_\_\_\_。

☐ 出かけられない。

◆ 「～（よ）うにも、.... られない。」は「そうしようと思っても、何かの事情でそれができない」という意味。このように、いつも文末は否定の可能形となる。

- 値段が高すぎて買おうにも買えない。
- 頭が痛くて、起きようにも起きられない。
- あまりにも疲れすぎていたので仕事をしようにもできなかった。
- こんな難しい問題では答えようにも答えられない。

102. あんな社長に文句を言った \_\_\_\_\_ で、聞いてくれるわけがない。

☐ ところ

◆ 「～たところで、.... ない。」は「～ても」と同じような意味で「たとえ～が実現したとしても、.... ない。」いつも文末は否定的な意味が来る。

- どんなに本をたくさん買ったところで、読まなければなんにもならない。
- 今から急いだところで、もう遅いでしょう。
- いまさらレポートを提出したところで、いい点数は取れないはずだ。
- この会社に電話をかけたところで、社長に会えないだろう。

103. 手紙を一通よこした \_\_\_\_\_、何の音沙汰もない。

☐ きり

◆ 「～たきり、....。」「～の行動がそれで最後になった。その後は何も行動や状況の 変化がない。」「きり」は句切りの「きり」で、これが最後という意味。

- 外国へ行ったきり、連絡がない。
- 彼は大切な本を借りていったきり返さない。
- 三年くらい前、彼とあったきり、会っていない。
- 彼は卒業したきり、学校へ一度も来ない。

104. この部屋を遊ばせて \_\_\_\_\_ のはもったいない。

☐ おく

◆ 「～ておく」は「今の状態をそのままに」の意味と、「準備としてあらかじめ～する」の意味とある。「遊ばせておく」は「何にも利用しないで、役に立っていない状態にする」の意味。

- あの体育館を遊ばせておくのはもったいない。
- 空いている部屋を学生達に自由に使わせておくのが合理的だと思う。
- その人を待たせておきなさい。
- まだ時間があるから、彼をそのまま眠らせておいてもいいでしょう。

105. 明治生まれの画家は、彼一人であつた \_\_\_\_\_、彼の死は大いに悔やまれる。

☐ だけに

◆ 「A だけに、B」というのは、「A がなければ、そんなに B ではないが、A だから、ふつうよりずっと B だ」の意味。

- あともう少し頑張れば山頂に着くところであつただけに、やめてしまつて残念だ。
- 日本のワールドカップにかけた期待が大きかつただけに、失望も大きかつた。
- 一生懸命努力してただけに、試験に落ちたのは残念だ。

106. 私の不注意で、子どもに大怪我を \_\_\_\_\_ しまった。

☐ させて

◆ 「先生が学生に答えを言わせた」のように他の人に命じてさせる、という使役表現の他に、「とても行きたがったので、ロックコンサートに行かせました。」のように許可の表現がある。この例は、命令でも、許可でもない。相手に自分の責任で不利益を引き起こした時に使う使役表現である。反省の気持ちがある。これは、目上の人のことを話す時にも使える。

- 私が時間を守らなかったために、みんなを待たせてしまった。
- 散財させてしまって申し訳ありませんでした。
- 課長の経営能力の欠如のために、計画をむだばねに終わらせてしまった。
- 論文がなかなか書けなくて、先生を困らせてしまった。

107. 彼は風邪をひいたにも \_\_\_\_\_、マラソン大会で優勝した。

☐ かかわらず

◆ 「～たにも」でも「～たのにも」でもよいが、一般的には前者。

- 失敗したにもかかわらず、一生懸命やっている。
- 彼は体の具合が悪いにもかかわらず、試合に出るそうだ。
- 雨が降っているにもかかわらず、傘もささずに出て行った。
- 日曜日にもかかわらず、出勤だ。

108. 病院に見舞いに行く \_\_\_\_\_、もう少し元気になってからにしない。

☐ なら

◆ 仮定の表現で、「Pを実現できると仮定する。その時Q」

(A) 会話では、相手のいったことを受けて、「〈相手のいったこと〉なら～」と使うことが多い。この時、短く言いたいときは、「それなら」と言えばよい。仮定の意味はあまり深く考えない方がよい。また、自分の方から、(B) 希望・条件を「～なら」と提案するのにも使う。

- 暑いなら上着をぬぎなさい。
- 買い物に行くなら、週末は混むから平日に行った方がいいよ。
- コピーに行くなら、私の分までお願いします。
- タイへ旅行するなら、面白い所を教えてあげますよ。

109. 原子力はそれ以後新しいエネルギーとして注目を \_\_\_\_\_ ようになった。

☐ 集める／浴びる／される

◆ 注目を浴びる／集める／される

- 一度テレビに出ただけで、彼はマスコミの注目を浴び、有名になった。
- 環境問題は人間に関係があるとして注目を浴びるようになった。
- 彼はだんだん脚光を浴びる歌手になった。
- 彼は『夜』という小説で脚光を浴びて、いつも新聞に出た。

110. もうちょっとで、傘を電車に忘れる \_\_\_\_\_ でしたよ。

☐ ところ

◆ 「忘れるところだった」というのは「忘れそうだったけど、忘れなかった」という意味。

- もうちょっとで車とぶつかるところだった。
- もう少しで、駅に行く道を行き過ぎるところだった。
- ひょっとすれば大変な事になるところだった。
- もうちょっとで傘を電車に忘れるところでしたよ。

## 日本語のイディオムと文型： 111 – 120

111. そばかうどんか、さんざん迷った \_\_\_\_\_、結局カレーライスを食べた。

☐ あげく（挙げ句）／すえ／結果

- 田中さんはどれにしようかとさんざん迷ったあげく、赤い色のセーターにした。
- 何年も悩んだあげく、結婚はしないことにした。
- 映画かコンサートかさんざん迷ったあげく、結局家でテレビを見ることにしました。
- いろいろ薬を飲んだあげく、死んでしまった。
- 気違いのように勉強し、あげくの果てに本当に狂ってしまった。

112. 夏の暑い日には、ビアガーデンで冷えたビールをのむに \_\_\_\_\_。

☐ 限る

◆ このような文脈では、「これが一番いい」という意味。

- かぜをひいたときには、たくさん寝るに限る。
- 酒はあつかん（熱燗）に限る。
- わからない問題は、ほかの人に聞くに限る。

113. こうした科学文化の現象は、いったい人間にどんな影響を \_\_\_\_\_ であろうか。

☐ 及ぼす／与える／もたらす （の）

- 交通ストはたくさんの人に影響を及ぼす。
- 大人の話は子供に影響を及ぼす。
- 母語は個人の考え方に影響を及ぼす。
- 現代の暴力的なテレビ番組は、子供の形成にどんな影響を与えるであろうか。

114. あなたが \_\_\_\_\_ と、行くまいと、私には関係（の）ないことだ。

☐ 行こう

◆ 「～ようと～まいと」 part 1-35

- 笑われようと笑われまいと、かまわない。
- しようと、しまいとあなたの勝手ですが、自分の責任でやってください。
- 生活が苦しい父母は、子供が学校に行こうと行くまいと関心がない。
- あなたが信じようと信じまいと、これは実際にあったことだ。

115. 来ていないのは山田さんだけで、バスは出発する \_\_\_\_\_ になっている。

☐ ばかり

◆ 「～ばかりになっている」で“準備は全てできている”という意味。

- 出かけるばかりになっていたのに、今日のパーティーは中止という電話がかかってきた。
- 日本への留学準備がすべてととのい、あとは飛行機に乗るばかりになっている。
- いま、コンピュータに入っているから、あとはプリントするばかりになっている。



116. 彼は、私に向かって怒らん \_\_\_\_\_ の表情で「何か用事ですか。」といった。

☐ ばかり

- 彼は「本当はあんたが殺したんだ」と言わんばかりに、私をにらみつけていた。
- 頭をたたみにつけんばかりにおじぎをした。(例解国語辞典より)
- 彼は飛びかからんばかりに私の方に向かってきた。
- 窓ガラスが割れんばかりに、大きな声を出している。

117. 空が曇っているとはいえ、傘をもっていく \_\_\_\_\_ のことはないですよ。

☐ ほど

- 飛行機に乗るといっても、生命保険に入るほどのことはないですよ。だって、自動車より安全なんですから。
- 寒いと言っても、毛皮を着ていくほど寒くない。
- きょうはちょっと寒いです。しかし暖房を入れるほどの寒さではない。
- 病気になっているとはいえ、学校に行けないほどのことはないですよ。

118. 遺産 \_\_\_\_\_ がほしくて、今日子と結婚したのではありません。

☐ なんか／など／な(ん)ぞ

- 私なんかが言っても、誰も聞いてくれませんよ。
- 私がガソリンスタンドで働いたのは、お金なんかがほしいからではなく、日本語を習うためである。
- 彼は成績なんかにまわらず、学問それ自体のために勉強している。
- 君なんか分かるものか。
- 寂しくなんかない。

119. A「どうもありがとうございました。これは御礼として、...」

B「御礼 \_\_\_\_\_ いませんよ。」

A「じゃ、\_\_\_\_\_ お名前だけでも教えてください。」

☐ なんて／など／なんか

- せめて気持ちだけでも汲んで下さい。
- せめてもう5分だけでもあれば最後まで書けたのに。
- せめて一回だけでも会いたい。

120. 迷子の男の子は、迎えにきた母親を見る \_\_\_\_\_、わっと泣きだした。

☐ なり／とすぐ

◆ 主語は同一。様子や状況を説明する文で使う。従って、「～てください。」のような文では使えない。

- その男はお金をわしづかみにするなり、逃げだした。
- ニュースを聞くなり飛び出して行った。
- 家にかばんを置くなり、遊びにでかけた。
- 彼を見るなり、逃げだした。
- 顔を見るなりしかりつけた。
- 友達の本を見るなり、友達と会う約束を思い出して、突然部屋を出た。
- 欠席して遊んでいた学生が、先生に会うなり逃げだした。
- 彼は部屋に入るなり、倒れた。
- プレゼントをあけるなり、大声を出した。

## 日本語のイディオムと文型： 121 – 130

121. 電車で遅れまいとして、\_\_\_\_\_ に走って、間に合った。

☐ 走り

◆ 「動詞（～ます形）に、～」はその動作をたくさんしたことを表す慣用句。この場合「走りに走った」は「走り続けて」のような意味。

- 昨日のコンパでは飲みに飲んだよ。(たくさん飲んだ)
- 探しに探して、ようやく先生の家を見つけた。(あちこち探しまくって)
- スナックで歌いに歌って疲れた。
- 母に毎日頼みに頼んで、ようやく新しい靴を買ってもらった。

122. 子供じゃ\_\_\_\_\_ し、いつまでも、お子様ランチを食べるんじゃない。

☐ あるまい

◆ 「～じゃあるまいし」／は「～じゃないんだから」という意味の話しことばで、続いて、「そんなことはあるべきではない／あるはずがない」という意味の表現が来る。例えば、大学生がファミリーレストランに入った時に、お子様ランチを注文しようとしたとする。それを見て、友人の一人が「子どもじゃあるまいし、....」。書き言葉では、「じゃ」の部分が「では／でも」になる。

- 死ぬほどの病気じゃあるまいし、そんなに大騒ぎすることないわよ。
- 給料があがるわけじゃあるまいし、無理して働くことはないよ。
- 冬ほどの寒さじゃあるまいし、暖房をいれることはない。
- 赤ん坊じゃあるまいし、そんな事知っているだろう。

123. 一生懸命、勉強してい \_\_\_\_\_、なかなか、成績があがらない。

☐ るのに、ても

◆ この場合は「のに」「ても」どちらでも意味は同じ。「のに」は既定のことについて使う。「ので」と「のに」は反対。「ても」は未定にも既定にも使える。

- せっかく京都まで行くのに、京都見物しないで帰るのはつまらない。
- 大阪往復買っても、京都往復買っても、料金は同じです。
- こんなに暑いのに、あの人はコートを着ている。
- 先週、宿題を出したのに、先生はまだ見ていない。

124. 入学試験を明日に \_\_\_\_\_ いるので、今日は眠れそうもない。

☐ 控えて

◆ 「控える」は次に来る事柄に備えて、後ろに下がって待っているという意味。次の「控える」はどんな意味か考えてみよう。

- クリスマスを間近に控えて、町はクリスマスの飾りでいっぱいだ。
- 冬休みを控えて、彼は帰国の用意をしている。
- 試合を明日に控えて休養を取っている。
- 入学試験を控えて、緊張しています。

125. あの人はもう食事は済んだと \_\_\_\_\_、コーヒーを飲みながら、タバコを吸っている。

☐ みえて

◆ 「～とみえる」で「～ようだ」「～みたいだ」の意味。

- 試験に受かったとみえて、なんだか元気がいい。
- サッカーに負けて、よほどがっかりしたと見えて、あまり口もきかない。

- 息子はかなり疲れているとみえて、帰って来るなり寝てしまった。
- 山田さんは今度の試験に失敗したとみえて、何も言わずに元気がない。

126. 小数意見は大切にしなければならないが、現実社会では \_\_\_\_\_ 無視され \_\_\_\_\_ です。

- ☐ とかく／ややもすると／ともすれば  
☐ がち

- ◆ 「とかく」は副詞で、「そういう傾向がある」「～しがちだ」という意味を加える。「とかく～がちだ」とセットで使われることも多いが、文末には傾向を示すことばがくる。
- 体の不自由な人の立場は、競争社会の中でとかく無視されやすい。
  - 現代の子供はとかくわがままに育てられがちだ。
  - 現代社会において貧乏な人がとかく軽蔑されがちだと言われている。
  - 寒くなると、とかく寝坊しがちだ。

127. 今、あの店でベンツが36万円でかえます。\_\_\_\_、エンジンはありませんがね。

- ☐ もっとも／とは言っても／但し

- ◆ しかしながらと言って条件を加えるときの接続表現。
- シェラトンホテルなら快適ですよ。もっとも料金も高いですが。
  - 来年は結婚したいと思っています。とは言っても彼がその気になったらですけど。
  - 私も行く。もっとも父に許してもらわなければならないけど。
  - 今、すいかは100円でかえます。もっとも、タイで買う場合ですが。

128. 人間 \_\_\_\_\_ ならず、サル（猿）の社会にまで、階級制度が存在している。

- ☐ のみ

- ◆ 意味は「だけ」。「人間のみならず」は、人間だけではなくの意味。ここでは「～のみならず」「～のみにあらず」をセットで覚えること。
- 従業員のみならず、社長もいっしょに、掃除する会社があるそうだ。
  - 人間はパンのみに生きるにあらず。
  - 明日の授業は午前中のみ。

129. この仕事を三日で終わらせるので \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ 難しいのに、\_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_ 半日で終わらせろなんて気違い沙汰です。

- ☐ A さえ; B まして

- ◆ 「...さえ...、A まして B」上限を示して、それより以下はまして、そうではない、あるいは下限を示して、それより以上はまして、そうではない、という意味で使う。この例文の場合は、3日は上限、それさえ難しい。まして、それ以下の半日ではとても無理、という意味。
- ビールさえ飲めないのに、ましてウイスキーなんて無理ですよ。
  - 本人さえ知らない事を、他の人が知るわけないだろう。
  - 蟻さえ殺せない人なのに、まして殺人なんてありえないことだ。
  - 大人でさえわからないのに、まして小さい子供にわかるわけがない。

130. あの人はあんな顔をしています、\_\_\_\_\_ 怒っているのではありません。\_\_\_\_\_ ああいう顔をしているのです。

- ☐ 別に もともと・生まれつき

- ◆ 「別に」は、特別に何かあるわけではない、特に何もない、という意味を加える。
- ◆ 「もともと」は、本来からという意味の副詞。
- 「どうして結婚しようとしなの」「別に結婚したいって思わないからね」
  - 「何考えているの」「うん別に...」
  - もともと頭がいいのに、勉強しないから、成績が悪い。
  - 別に練習しなくても試合で優勝するのは、もともとああいう体をもっているからです。

## 日本語のイディオムと文型：131－140

131. 驚いた \_\_\_\_\_、この少年は300ページ以上の本を3分で読み、その内容を解説するではありませんか。

☐ ことに

◆ 「〈感想／評価〉ことに」で、これから述べることを解説する働きがある。「～するではありませんか」は驚きを表す。

- 悲しいことに、彼はあんな若さで死んでしまった。
- 恥ずかしいことに、あんなやさしい試験で落ちた。
- 幸いなことに、その事故で怪我人はいなかった。
- 驚いたことに妻子を殺した犯人は夫だった。

132. あれだけ親切にしたのだから、御礼ぐらい言っても \_\_\_\_\_ ものだ。

☐ よさそう

◆ 「よさそう」は「いい＋そう」からできているが、このように「～てもよさそうなのに／～てもよさそうなものを／～たらよさそうなものだ」などと言って、疑問や批判を表すのに使う。

- 自分で買って使ってもよさそうなのに、いつも借りて使っている。
- あんなに手紙を出したのだから、返事を書いてくれたってよさそうなものを。
- こんなに一生けんめい勉強したのだから、成績はもう少し上がってもよさそうなものだ。
- ひまだったら手伝ってもよさそうなのにだまって見ている。

133. 1時間でステーキ3枚とライス3皿を食べ \_\_\_\_\_ のはちょっと無理じゃないか。

☐ つくす、きる

◆ ～つくす、～きる、でその動作を完全に終了して、それ以上はもうできないことを言う。

\* たくさんのものを一度に食べてしまうことを「たいらげる」とも言う。その相撲取りは、あつという間に、どんぶり3杯のごはんを平らげた。

- 意見はもう出尽くしたようですね。結論を出しましょう。
- 考え尽くした結果、仕事をやめることにした。

\* 使い果たす

- 捕まったとき犯人はお金を使い果たして、所持金は150円だけだった。
- マラソンランナーは力を使い果たして倒れ込んだ。

134. 彼は救い \_\_\_\_\_ のないバカである。

☐ よう

◆ このときの「よう」は方法という意味。「救いようのないばか」は非常にばかだと言う時の、慣用句。

- そのような失礼なことばかりしていたのでは頼みようがない。
- スペイン語が全然分からなかったので、聞こうにも、聞きようがなかった。
- おなかがいっぱいだったので、食べようにも食べようがなかった。
- どこへ行っているのか、連絡しようがない。

135. A：「あなたは娘の命の恩人。何か御礼をしなければ、私の気が \_\_\_\_\_ ません。」

B：「いや、それには \_\_\_\_\_」

☐ おさまり／すみ

◆ 「気がおさまらない／すまない」で、相手に対して自分の気持ちが平静になれないという意味。  
 この場合は、相手に対して申し訳ないという気持ちで、落ち着かない気持ち。相手に腹を立てる場合でも使える。「済む」は「終わる」の意味。「納まる」は「納得する」の意味。

- いつもいつもいただいてばかりでは、私の気がおさまりません。
- これをお受け取りくださらないと、私の気がすみません。

□ およびません

◆ 「その必要はない」という意味を、社交的な場面で間接的に言うとき、使う。「及ばない」は基本的に「そこまで達さない」ということ。

- わざわざ出迎えに来ていただくには及びません。
- こんな物をわざわざ取りに来るには及びません、郵送で送れます。

136. 常日頃から、誤解を \_\_\_\_\_ ような行動は慎むべきだ。

□ 招く／生む／呼ぶ／される

◆ 「招く」は「呼び寄せる」という意味。「理解を招く」「誤解を招かれる」のように言わない。

- 彼女のはでな外見が誤解を招いている。
- 彼の言動が今回の誤解を生んだ。
- 誤解を呼ぶようなことは言わないでください。
- 彼の話が、まわりの人々に誤解を生んだ。

137. 遺産を \_\_\_\_\_、兄弟の醜い争いが続いている。

□ めぐって

◆ 「巡る」は「周りをぐるっと回ること」。「～をめぐって」の場合は、そのことを中心にして議論した、のようなときに使う。簡単には決まらない議論の場合に使う。

- 日本の国際貢献をめぐって、国会で議論された。
- 日米の技術競争をめぐる映画が作られた。
- 貿易摩擦を巡って論じ合いました。
- この川の魚が突然に全部死んだことをめぐって、詳しい調査をしました。

138. あなたの言い分が正しいに \_\_\_\_\_、暴力はいけない。

□ せよ / しろ

◆ 「～にしろ / ～にせよ」で「～であっても」の意味。

- この教科書がどんなにいいにせよ、勉強しなかったら、何にもならない。
- 犯人が極悪人であったにせよ、死刑は問題だ。
- どのように実力があるにせよ、性格がよくなないと社会生活はできない。
- 地球が大きいにせよ、このまま続ければゴミにうまるのは時間の問題だ。

139. 彼の病はもう治らないそうだが、我々は \_\_\_\_\_ 風を装っておこう。

□ そ知らぬ／知らぬ

◆ 「そ知らぬ風をよそおう」は「何も知らないふりをして行動する」という意味。

- 警察はそ知らぬふうにな彼女に話しかけた。
- 聞かれたら、知らぬふりをしたい。
- 何回呼んでも、彼はそ知らぬ顔をしていた。一体どうしてだろう。
- 彼は知っているのに知らぬふりをして、私に教えてくれない。

140. 子供の喧嘩に親が \_\_\_\_\_ をはさむのはよくない。

□ 口

◆ 「口を挟む」「挟む」は「物と物の間に入れる」という意味。「口出しをする」と同義。

- 夫婦のことに、他人が口を挟まないでください。
- あなたは関係ないから、口をはさむな！
- 友達とのけんかに、他の人が口を挟まないで下さい。
- 私のことは、私がちゃんとするから口を挟まないでください。

## 日本語のイディオムと文型： 141 – 150

141. 秋の台風は大雨を \_\_\_\_\_ ことが多いようだ。

- ☐ ともなう（伴う）、もたらす
- ◆ 「伴う」は「同伴する」「一緒にいる／ある」の意味である。
- 学長は奥さんを伴ってパーティーに出席した。
  - 今回の地震に伴って、津波が発生した。
- \* 「もたらす」は「持ってくる／いく」の意味。
- 今回の地震がもたらした被害は、相当なものようだ。
  - 経済の不景気は失業をもたらす。

142. 泣きたければ \_\_\_\_\_ ておけばいい。そのうち泣き \_\_\_\_\_ でしょう。

- ☐ 泣かせて
- ◆ 「... たければ、... させておく」で、その人のしたいようにさせる、の慣用的な言い方。
- やりたければ、やらせておけばいい。
  - たばこを吸いたければ、吸わせておくしかない。
  - 飲みたければ飲ませておくしかない。
- ☐ やむ（止む）
- ◆ V-(base) やむ stop Verb-ing 「やむ」は「続いてきたことが止まる」の意味。
- 雨はずっと降っていて、やみそうもない。
  - 風が吹き止みました。雪が降りやみました。

143. \_\_\_\_\_、三千円だけお支払いします。残りは月末まで待ってください。

- ☐ とりあえず（取り敢えず）、さし当って、とにかく（兎に角）
- ◆ 「とりあえず」は「今の時点では、不十分だが」の意味。「さし当って」は「今の時点では」、「とにかく」は「問題はそのままにして、今は... をする」の意味。
- 授業があるかないか、分からない。とにかく行きましょう。
  - さしあたって何が必要ですか。
  - 道がよく分からないけど、とにかく次の信号まで行きましょう。
  - みなさん忘年会のことなんですが場所はまだ分からないんですけど。とりあえず、いつやるかを相談したいんです。

144. 客を温かく \_\_\_\_\_ 店もあれば、冷たく \_\_\_\_\_ 店もある。

- ☐ もてなす（持て成す）、迎える
- ◆ 「もてなす」は「接待する」の意味。
- 20年ぶりのアメリカでは、なつかしい友達の温かい持て成しを受けた。
  - 年老いた夫婦はその見知らぬ旅人をあたたかく持てなしました。
- ☐ あしらう
- ◆ 「あしらう」は取り扱うの意味。人間に対しては、その取り扱い方が、敬意のない態度。しかし、物に関しては、帽子に花をあしらう、のように、配置する、という意味で使う。
- あの人はお客を鼻先であしらう。
  - 招かれて訪ねて行ったのに、冷たくあしらわれて気分が悪くなった。

145. 泣いている子供は \_\_\_\_\_ に叱っても、効果がありませんよ。

- ☐ むやみ、やたら、

- ◆ 「やたら」は、その頻度が多いこと。しかし、ただ単に多いのではなくて、不必要なほど、という感じ。一方、「むやみ」は“その程度を考えない程、多く”という感じがある。
- 子供に、むやみに甘いものを与えてはいけない。
  - 彼はむやみやたらにお金を使う人だ。
  - むやみに子供を可愛がるのは危ない。
  - かれはやたらに本を買い込む。

146. こんな高い家賃を払うのなら、\_\_\_\_\_、家を買ったほうがいい。

- ☐ いっそ、いっそのこと、むしろ、思い切って
- ◆ 「いっそ」「いっそのこと」は〈同じ～なら、むしろ思い切って... する〉のような意味。「むしろ」は二つのものを比較して、「どちらかというところ... のほうが」という時、使う。「思い切って」は「勇気を出して、決断して。」の意味。
- ワープロを買うより、むしろパソコンを買ったほうがいいんじゃないかな。
  - 日本の会社で毎日残業をするより、むしろ自分の店を思い切って開きたい。
  - こんな人と結婚するより、むしろ一生独身のままだ方がいい。

147. 「よーい。どん。」で、全選手が \_\_\_\_\_ にスタートした。

- ☐ いっせい（一斉）
- ◆ 多くのものが一度に同じ行為をする様子を表している。
- 今度の日曜日には町内一斉清掃があります。
  - テスト開始のベルで、学生達は一斉に答えを書き始めた。
  - マラソン走者は、一斉に午後12：01に走りはじめました。
  - 雨が突然降り出すと、みんな一斉に傘をさした。

148. 彼が盗んだということも考え \_\_\_\_\_ もするが、そうは思いたくないのだ。

- ☐ られ、たり
- ◆ 「[V-(base)] もする」で、「～する場合もある」のような意味で、この場合、「考えられもする」で、「そういう可能性もある」の意味。
- 褒めもするが、叱りもする。
  - 試合なのだから、勝ちもするが、負けもする。
  - 試験なのだから合格もするが、落ちもする。
  - リサイクル店は、買いもするが、売りもする。

149. \_\_\_\_\_ ことをお聞きしますが、近くに公衆便所はございますか。

- ☐ つかぬ（付かぬ）
- ◆ 「出し抜けに」、「関係ないことを突然に」、誰かに質問するときに、言い始めるときの、便利な決まり言葉。
- つかぬことをおたずねしますが、おいくつでしょうか。
  - つかぬことを伺いますが、〇〇さんのご主人でいらっしゃいますか。

150. クラス \_\_\_\_\_ に分かれて、試験を実施いたします。

- ☐ ごと（毎）
- ◆ 「各々に、それぞれに」の意味。「[名詞] ごと」と使う
- 5キロ毎に、スプリットタイムが表示される。
  - 2カ月毎に、テレビの受信料を払っている。
  - 正解毎に3点とれます。
  - 授業毎に文を30書かなければならない。

## 日本語のイディオムと文型：151 – 160

151. 子供が急に飛び出してきて、\_\_\_\_\_ ひき殺すところだった。

☐ 危（あや）うく

◆ 「危ないところで」とも言える。「もう少しで、そう（いやなこと）なりそうだったが、実際はそうはならず、危なかったが、大丈夫だった。」というとき、使う。文末には、～ところだった、～そうになった、など、がくる。

- A：ガン検診を受けていてよかったですね。B：ええ、早期発見でしたからね。危うく命を落とすところだった。
- 授業をさぼってアパートに帰るとき、危うく先生に見つかりそうになった。
- 入学試験のとき、道路が込んでバスが遅れ、危うく試験に遅れるところだった。

152. そんなに危険なことをして \_\_\_\_\_、やるほどの価値はない。

☐ まで

◆ ものごとの限界、限度を示す助詞。単純に、from-to の to の意味の他に、「そんなにまで」という驚きなどの感情を強調する使い方もある。この場合は後者。

- こっちから頭を下げて頼んでまで、してもらわなくてもいい。
- 台風で屋根まで飛んでしまった。
- こどもにまでばかにされた。

153. いつまでも \_\_\_\_\_ していないで、早く学校に行きなさい。

☐ ぐずぐず

◆ 判断、動き、が遅いこと。何もしていないわけではないが、やることがのろい。

- 総理大臣は、ぐずぐずしていないで、早く決断して欲しい。
- ぐずぐず言っていないで、はっきり言ってください。
- ぐずぐず考えていても仕方がないから、やってみましょう。

154. この喜ばしいニュースを \_\_\_\_\_ に誰に伝えたいですか。

☐ いの一番／まず最初／まっさき

◆ 「い」は「いろはにほへと……」の「い」で、一番最初のこと。最初の中の最初、と強調した言い方。

- 国に帰ったら、いの一番に、父の墓参りをしたいです。
- うちの子は学校から帰ってくると、いつも、いの一番にトイレに駆け込みます。

155. 大きな赤字を出して \_\_\_\_\_、私はこの仕事を続けたい。

☐ でも

◆ 「出してでも」は「出したとしても」「出したって（話しことば）」。「～てでも」は最悪、最低の仮定条件を示して、たとえそうであってもいい、という意味を表す。後には、positive な評価を含む表現がくる。これとは反対に、「～てまで」の場合、後ろに、negative な評価が来ることが多い。



- こっちから頭を下げてでも、してもらいたいことです。(例えいやなことをしてもいい、)
- こっちから頭を下げてまで、してもらいたくない。(そんなにいやなことをしてまで)
- お金を払ってでも、やる価値がある。(例えお金を払ってもいい、)
- お金を払ってまで、やる価値はない。(そんなにしてまで)

156. 旅行に行く \_\_\_\_、商売する \_\_\_\_、好きなことにこのお金を使いなさい。

☐ なり

◆ 同じ様なまとまりのものごとの中から、いくつか示して、自由に選択できることを表す。

- 殴（なぐ）るなり、蹴（け）るなり、好きなようにしてください。
- 手紙を書くなり、電話するなり、したらよかったのに。どうして、連絡しなかったの。
- この鍋（なべ）料理は、味が何もついていませんから、自分の器（うつわ）にとってから、ぼんずなり、ごまだれなりかけて、食べてください。

157. ここまで準備したのだから、後はもうやる \_\_\_\_\_ ない。

☐ しか

◆ 話し言葉では、やるしかない、が「やるっきゃない」のように、発音されることもある。

- こんな時間で、バスもないし、タクシーを呼ぶしかないですね。
- 日本に留学したからには、日本語をがんばるしかない。

158. 親切にしてやった上に、お金までよこせなんて、あきれて \_\_\_\_\_ ない。

☐ ものが言え

◆ 驚き、呆れたときの決まり文としては、「あきれて、ものが言えない」の他に、「あきれて、開いた口が塞（ふさ）がらない」「あきれて、声も出ない」などがある。「呆れる」は、あまりに、ばかばかしい非常識なことに、驚く、という意味。

- あの人は学生から先生になったとたん、学生にめちゃくちゃきびしいことを言うようになった。あきれてものが言えない。

159. いつも、私にお金を借りるくせに、「お母さん、プレゼントは何かいい」なんて \_\_\_\_\_ ないことを言っている。

☐ 心にも

◆ 「心にもない」は、「本当は、全然考えてもいない」という意味。

- あの課長は、心にもないお世辞を、部長に言っている。
- あの人は、「家に遊びに来て。待ってるからね。」なんて、心にもないことを言ってる。

160. あの人は誰からも尊敬される人と思っていたのに、あんなひどいことをするなんて、まるで \_\_\_\_\_ しまったよ。

☐ みそこなって

◆ 漢字では、「見損なう」と書く。判断、評価が間違った、という意味で、かった」というとき、使う。

- わたしだって、できますよ。見そこなわないでくださいよ。
- あんなことを言うなんて、見そこなったな。
- ※全く別の意味で「見忘れる」という意味もある。
- しまった、サッカーの決勝戦（テレビの番組）を見そこなった。

## 日本語のイディオムと文型：161 – 170

161. この品物は、産地直送 \_\_\_\_\_ のご奉仕価格です。

☐ ならでは

◆ 産地直送なら、他の流通経路をたどっていないので、その分安くなる。このように、原因・理由となっているものごと（この場合、産地直送）を特に、強調して示す言い方。名詞につく。

- 生の演奏はCDとは違って、本物ならではの感動を与える。
- これだけ文化的な行事が目白押しなのは、東京ならではの。

162. これは試験勉強に \_\_\_\_\_ の参考書だ。

☐ 不可欠／ひっす（必須）

◆ 不可欠な／の〈名詞〉、のように、「な」でも「の」でもいい。漢字の意味するとおり、「欠くことができない」、つまり「必ず必要だ」、「なくてはならない」、という意味。「必要不可欠だ」という言い方もできる。「必要」は「な」をとって、「必要な参考書」となる。

- 軍縮を進めていくには、各国が相互に平和を保障することが不可欠だ。
- 中学の先生になるには、教員免許を持っていることは、必要不可欠な条件ではあるが、これだけでは十分ではなく、さらに教員試験にパスしなければならない。

☐ もってこい

◆ 非常にぴったり、適当な

- この写真は日本語の教材にもってこいだ。
- これはビールのつまみにもってこいの料理だ。

163. 彼がこんなに必死に言うのだから、これは \_\_\_\_\_ うそではあるまい。

☐ あながち（強がち）／まんざら／必ずしも、よもや／まさか

◆ 「あながち.... ではない」のように、打ち消しの文末がくる。意味は、「... とは断定できない」。否定の程度を弱め、むしろその逆である意味を表す。この場合、「あながちうそではあるまい。」で、案外、本当かもしれない。嘘とは言い切れない。という意味になる。

- 談合はあながち悪いとも言えない。
- 彼女が授業を休むのは、あながち病気のせいばかりではない。
- A：これちょつとはでじゃない。  
B：パーティーに着て行くんでしょう。まんざら悪くもないわよ。

164. 今までがんばってきたのに、\_\_\_\_\_ やめるなんて何を言っているんだ。

☐ いまさら（今更）／今になって

◆ 「今さら.... ない」は、もっと、早い時点だったら、何とかなったかもしれないが、今という時点で、そのことをしても無意味だ、どうしようもない、という意味。

- 今更言っても、仕方がないけど、どうして、もっと早くから準備しなかったの。
- 気ままな一人暮らしが長いので、今さら結婚する気にならない。

165. 食べ放題といっても、どんなにたくさん食べても、食べて \_\_\_\_\_ 3杯ぐらいだろう。

□ せいぜい（精精）

◆ 多く見積ってという意味。

- 今日は天気が悪いから、集まってせいぜい10人ぐらいだと思ふよ。せいぜい10人ぐらいしか集まらないと思ふよ。
- そんなに勉強していないのでは、せいぜい6割しかとれないよ。

166. あまり高い値段をつけると商品の \_\_\_\_\_ が悪くなる。

□ うれゆき（売行き）

◆ 売れていく様子。

- 雲行きが怪しい。（様子の悪い方向への変化）
- 成り行きにまかせよう。（なるようにしておこう）
- 新型車の売れ行きが伸びず、車のメーカーはどこも困っているらしい。
- 売行き不振を苦にして、自殺するセールスマンまで、出てきた。

167. 相手との考えの違いが大きくて \_\_\_\_\_ にならない。

□ （お）話し

◆ 「話しにならない」は、話題にしたり、考えたりする価値もないほどばかばかしい、という意味。

- 今週中にお金を返すと言っているが、入ってくるあてもないのでは、話しにならない。
- この程度の作品で応募するなんて、お話にならない。

168. どんなにがんばっても、悪口を言われるのが \_\_\_\_\_ だ。

□ せきのやま（関の山）／せいぜい

◆ 上限を示して、これ以上は無理だという意味。

- 始めるのが遅かったので、さっと目を通すのが関の山だ。
- あの相撲取りはいくらがんばっても、8勝するのが関の山だろう。

□ おち

◆ 「おちだ」は「それで最後だ」という意味。悪い結果を予測して、その行動を批判する表現。

- 俳句のつもりで作っても、川柳と言われて笑われるのがおちだ。
- そんな歳でスキーに行っても、足の骨を折って入院するのがおちだ。

169. 誰もやってくれないので、\_\_\_\_\_ 自分でやった。

□ やむをえず（已むを得ず）

◆ 「仕方なく」という意味。既定（過去のこと、決定済みのこと）についてマイナスの注釈を表す。

- 不作のため、やむを得ず、米を緊急輸入することにした。
- ？ やむを得ず、米を緊急輸入する。
- × やむを得ず、あした電話をかえけよう。
- 飛行機の切符がとれなくて、やむを得ず夜行列車で行った。

170. 事業が計画通り進まないのは、資金が不足している \_\_\_\_\_、他からの妨害があったからだと思われる。

□ 上（に）／だけでなく

◆ 良いことにも、悪いことにも使える

- 彼女は性格がよい上に、頭もいい。
- 高い気温が続いていた上に、非常に乾燥していたので、山火事が発生しました。

## 日本語のイディオムと文型：171－180

171. なんとか \_\_\_\_\_ 言っても、やっぱり自分しか信用できませんね。

☐ かんとか ◆ 色々な意見・文句を言う、という意味。聞き手にとっては、うるさいばかりで、あまり意味がない。他にも次のような表現がある。

\* 「なんだかんだ言う」「なんのかんの言う」「ああだこうだ言う」

● A：政治改革って、難しいんですね。

B：政治家はなんとかかんとか言っているけど、結局は、自分の地位とお金が欲しいんじゃないですか。

● 山田さんは、なんだかんだ言って口うるさい人だけど、やることはきちんとやる人ですよ。

172. よくわからないんですが、年金問題が \_\_\_\_\_ っている話題だったと思うんですが。

☐ どのこのこの

◆ 説明の内容を、具体的には言わないで、色々な内容があった、と表現するときに言う。

● 医者は患者の病状がどのこのこのって、他人に言うてはいけないことになっています。

● 女性週刊誌には、皇后の病気がどのこのこのとか、皇后がどうした、こうしたとか、皇室関係の記事がいつも載っている。

173. そりゃー、面白いの \_\_\_\_\_、腹がはちきれんばかりでしたよ。

☐ なんの（って）／なんのといったら

◆ ～なんの、で、その、前にある形容詞を強調する。

● 難しいのなんの、ちんぷんかんぷんで、全然わからなかったよ。

● 手術した晩は、痛いなんのって、全然眠れませんでしたよ。

● 船の上で食べる魚はおいしいなんのって、最高ですよ。

174. こんな大切な話を二人 \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ で、\_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_ 話し合っていたんだってよ。

☐ A だけ、きり; B こそこそ、ひそひそ

◆

● A の「こそこそ」は、他の人には知られないように、隠れてものごとをする様子。「ひそひそ」は小さい声で、の意味。

● お腹のすいた子供が、お母さんの目を盗んで、台所で、こそこそ食べている。

● 大臣はひそひそと相談したあと、答弁にたった。

175. この政治家の企（たくら）みは、野党の非難を浴びたに \_\_\_\_\_、全国民の反感までをも \_\_\_\_\_ てしまった。

☐ とどまらず

◆ 「～にとどまらず、～する」、それで終わらないで、さらに、～する、の意味である。

● 若い頃大学に進学できなかった主婦のA子さんは、放送大学で、勉強して見事に卒業し、学士になりましたが、A子さんは、これにとどまらず、今度は大学院を受験する予定です。

☐ かつ

◆ 「反感をかう」は相手を不愉快にするようなことを言ったり、したりすること。

- 貴ノ花の婚約解消は若い女性の反感をかった。
- 貴ノ花の記者会見を見た若い女性は反感をいだいた。

176. 癌というのは、急に発病するという種類の疾病（しっぺい）ではなく、日一日と、患者の健康を   A  、  
やっかいな   B   の病である。

☐ A むしばむ; B 不治（ふじ）

◆ 「蝕む」少しずつ、体や、心を悪くしていくこと

- 麻薬に心も体も蝕まれた人々を、救うために、各自治体で、彼らを受け入れる施設を作ったかどうか。
- 競争社会は人間の心を知らず知らずにむしばんで、やさしさを失わせている。

177. この辺は冬はひとけのないさびしい町だが、夏は海水浴シーズンになると派手な水着の若者たちで  
\_\_\_\_\_。

☐ あふれる／にぎあう

◆ いっぱいになる、という意味

- 4月になると、キャンパスは進学生の新しい自転車であふれる。
- 電気屋には、値下げした商品があふれているのに、客はまばらだ。

178. イギリスのハイド・パークでは、毎日、見知らぬもの同士が議論に \_\_\_\_\_ ている。

☐ 花を咲かせ

◆ 「花を咲かせる」で「話しがもりあがる」「話しを楽しむ」

- 卒業後20年たって、同窓会がひらかれ、思い出話に花をさかせました。
- サラリーマンは仕事の後、同僚と一杯飲みながら、仕事の話、特にボスの悪口、に花を咲かせて、気晴らしをするようだ。
- 噂話に花を咲かせている間は、結構楽しいものだが、あとでむなしくなる。

179. 小さなタバコの火が原因で山一帯が火の \_\_\_\_\_ になった。

☐ 海

◆ 一面に広がって見えるものを、「海」とたとえる。「火の海」「雲の海」など、限られた表現に使う。

- 飛行機から見る真っ白な雲海（うんかい）は、幻想的だ。
- あっという間に、火の海となり、逃げ出せなくなってしまったらしい。

180. 木造の家などは一度火がつくと、\_\_\_\_\_ うちに灰となっていく。

☐ みるみる

◆ 「みるみるうちに」は、「見ているうちに」という意味で、変化の速いことをいう。

- みるみるうちに痩せていった。
- さすが、プロだけあって、みるみるうちにデコレーションケーキを仕上げてしまった。
- いつもいつも日本語の教科書を抱えていただけあって、みるみるうちに、日本語が上達した。

## 日本語のイディオムと文型： 181 – 190

181. ものすごいとは  A  には  B  が、こんなにすごいとは思わなかったよ。

☐ A 聞くには; B 聞いていたが / A 耳には; B していたが ◆ 「～するには～たが」「～することは～たが」で、一応～したが、その行為についてはあまり効果を期待していなかったとか、あまり本気ではなかったというような気持ちを表現している。

- スピーチコンテストに総理大臣が来るらしいとは聞くには聞いていたが、まさか本当に来るとは思っていなかった。
- 今週文法のテストがあるという掲示を見るには見ていたが、勉強する時間がなかった。
- A：論文は書けた？

B：うーん。書いたことは書いたけど。(これじゃあ、だめだなあ。)

A：ねえ、佐藤先生に頼んでくれた？

B：うん、頼むには頼んでおいたけど、やって下さるかどうかは、わかんないよ。

182. \_\_\_\_\_ と思ってしたことが、かえって、あの人を不幸にしまった。

☐ よかれ ◆ 「よかれ」と同じ意味で「よかれかし」。「良くあれ」という文語。「よかれあしかれ」で、「良くも悪くも」「良くても悪くても」「どっちみち」の意味。

- 政治改革法案は、よかれあしかれ成立させてやってみるしかない、というのが大方の国民の意見だった。
- 母親は誰でも子供のためによかれと願って行動している。

183. この次のテストは、その辺の本に書いてあったことをいいかげんに書いて、\_\_\_\_\_ にごそう。

☐ お茶を ◆ 「お茶を濁 (にご) す」で、「ごまかす」「あいまいにする」という意味。

- 女性差別に対する批判に応じて、政府は雇用均等法を作ったが、このような抜け穴の多いものでお茶を濁されては、困る。
- 返事に困って、どうやってお茶をにごそうかと思案した。

184. 親に実力以上の期待を \_\_\_\_\_ た子供達の自殺が増えている。

☐ かけられ／よせられ

- 日本中の人々が、伊藤みどりに金メダルの期待をかけた。
- 金メダルの期待がかけられて、彼女は、プレッシャーを非常に強く感じていたらしい。
- 国民は政治が新しい方向に進むよう、新内閣に期待を寄せている。

185. この喫茶店には、コーヒーの香りだけでなく、店の雰囲気も \_\_\_\_\_ に来ている客が多い。

☐ 味わい ◆ 「酒を味わう」、のように、口に入れるものの味を感じ取る、楽しむというのが元々の意味で、他に、雰囲気を味わう、苦しみを味わう、詩を味わう、のように、飲食以外にも使う。

- 挫折感 (ざせつかん) を味わってからというもの、弱い立場の人に、やさしい気持ちを持つようになった。
- 日本料理は目でも味わうものです。

- 癌になって、死の恐怖を味わってからというもの、生をより強く味わえるようになった。

186. 赤ちゃんが産まれて初めて、父親としての実感が \_\_\_\_\_ てきた。

- ☐ 湧 (わ) い ◆ 「湧く」というのは、地下水が地面の下から表面に出て来るような様子を言う。又、うじ (小さい虫) が発生する、という意味も。「実感が湧く」というのは、それまで、夢みたくて、あまり本当のことではな いうだったのが、本当のこととして感じられるようになる、という意味。「興味が湧く」「自信が湧く」

- 貧しかった村に、温泉が湧き出して、その村は急に観光客で賑わいだした。
- A：優勝おめでとう。うれしいでしょう。
- B：ええ、でも、まだ実感が湧かなくて。
- バリダンスを見て、インドネシアの文化に興味が増えた。
- 皆に褒 (ほ) められて自信が湧いてきた。

187. 私は料理はしない \_\_\_\_\_ ないが、一人のときは面倒なので、たいてい外で食べる。

- ☐ ことも／わけでも／でも ◆ 「～ないこともないが、....」「～ないわけでもないが、....」で、「たまには、多少は、～するが、しかし....」という、部分肯定の意味を表す。

- 貯金しないこともないが、たいていは、あまらなすぎですね。
- 逃げようと思えば、逃げられないこともなかったが、私は、そこにとどまって、謝 (あやま) った。
- 朝、ごはんを食べないわけでもないが、パンとコーヒーのことが多いです。

188. あの人は東京へ行った \_\_\_\_\_ で、もうここにいないそうだ。

- ☐ とのこと ◆ 「とのこと」は伝聞の表現
- A：木村先生から先ほど、電話がありました。木村先生は、明日の会議に欠席なさるとのことです。
  - B：ああ、そうですか。ありがとうございます。
  - メモ：田中さんは、午後1：00に到着するとのこと

189. 彼は呼ばれ \_\_\_\_\_ A \_\_\_\_\_ しない \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_、黙って私の部屋に入ってきた。

- ☐ A も; B のに ◆ 「動詞 (ます形) もしないのに」は「動詞 (て形) もいないのに」と同じような意味。この場合「呼ばれてもいないのに」と同じ。普通は、呼ばれてから部屋に入ることになっているのに、呼ばれていないのに入ってきた、という意味。「も」はその気持ちを強めている。
- 読みもしないのに、その本を批判している。
  - 会いもしないのに、まるで会ったかのように話しているなんて。
  - 頼みもしないのに、やってくれるなんて、あの人おせっかいだね。

190. 本当によく勉強した \_\_\_\_\_、よい成績がとれたのだ。

- ☐ からこそ
- ◆ 理由表現の「から」+取り立てて強調する「こそ」で、色々な理由があるだろうが、この理由がなかったら、成り立たなかった、という気持ちを表現。特に、強調したい気持ちの背景には、通常は無視されたり、逆の効果の方が考えられ易い場合などがある。
- 失敗の経験があったからこそ、成功できた。
- みなさんの応援があったからこそ、ここまでがんばれました。
  - 歳をとっているからこそ、明るい派手な色の服を着たほうがいい。
  - 寒いからこそ、外に出て運動しよう。

## 日本語のイディオムと文型： 191 – 200

191. 驚く \_\_\_\_\_、よろこぶ \_\_\_\_\_、会場は大騒ぎだった。

☐ やら

◆ 話しことば。列挙するとき使う。

- 急に決まった企画だったので、スポンサーをさがすやら、人をさがすやら、忙しかった。
- 台風で、かわらやら看板やら飛んできた。

192. 一つ一つ片付けていけない \_\_\_\_\_ には、収まらない。

☐ こと

◆ 「～ないことには... できない」で、「もし～なかったら、... できない」という意味になり、～することが、必要だと示す表現。この場合、一つ一つ片づけることが、必要で、そうしなかったら、解決できない、ということ。

- 本人に直接聞いてみないことには、本当のことは分からない。

193. どういう \_\_\_\_\_ の吹き回しなのでしょう。あの人がお歳暮を持ってくるなんて、...

☐ 風

◆ 「風の吹き回し」ものごとの状況のこと。 どうして、このような状況になったのか、と予測に反した人の行為（悪→良）のときによく使う。

- いつも怖い顔をした木村先生が、今日は冗談ばかり言っている。どういう風の吹き回しなんだろう。
- どういう風の吹き回しか、山下さんが電話をくれた。

194. 大きくなったら、\_\_\_\_\_ ても人様のご迷惑になるような人になってはなりませんよ。

☐ まちがっ／まちがえ

◆ 「まちがっても.... ない」と否定とつながる。不注意で何か間違えるようなことがあったとしても、それでもだめだ、という気持ち。どんなことがあっても。

- まちがっても、そんな格好して、外に出て行かないでよ。

195. 国のお金を使い込むなんて、あの人は \_\_\_\_\_ 総理大臣なんかではない。

☐ （到底）とうてい

◆ 「とうてい.... ない」で、どんなにしても、どうしても、.... ではない。

- あの人は頭もいいし、よく勉強しているし、私なんかとうていかなわない。
- あの家の建築はずいぶん時間がかかっていますね。3月に完成なんて、とうてい無理ですね。

196. 悲しみの \_\_\_\_\_、泣くこともできず、無表情で座り込んでしまった。

☐ あまり



- ◆ 寒さのあまり、うれしさのあまり、うれしいあまり、急ぐあまり、かわいいあまり、などのように、〈名詞〉のあまり〈動詞・形容詞・な形容詞 連体形〉あまりで、心に関係する状態で、過度な程度を言って、それが原因で起こることを言う。

- 小さい頃から、かわいいあまり、あまり強く叱らなかったので、弱々しい子供になってしまった。
- 電車に間に合うように急いだあまり、転んでしまった。

197. 所得税の減税をする \_\_\_\_\_ で、その財源確保のために消費税を増税した。

☐ 一方

◆ 一方（で）

- 子供の教育では、叱る一方で、ほめることが大切だ。
- 読解の練習では、精読して一文ずつ読む一方で、ざっと読んで、全体の内容を把握する練習も必要だ。

\* 接続詞

- 王子は狩りにでかけた。一方、王女はショッピングに出かけた。

\* そればかりする、という意味の使い方。

- あの人は食べ物には手を出さず、飲む一方だ。

198. こうなった \_\_\_\_\_ は、思い切ったりストラをして、経営を立て直すしかない。

☐ 上／以上

◆ ある状況が決まった状態になっていて、それであるなら、こうする、こうなるという表現。

- 大学院を受験すると決めた上は、死にものぐるいで勉強する覚悟です。

199. 飲み \_\_\_\_\_ のコーヒーをコンピュータの横に置いて仕事をしていたら、こぼしてしまった。

☐ かけ

◆ 行為・変化の途中で中断されている状態を言う。未完了を表す。

- A：ねえ、その本を貸してくれない？

B：うん、いいよ。でも、今、読みかけなの。終わってからでいい？

- 船の火災を消そうとしているうちに、船は傾いて、沈みかけた。
- テーブルの上に食べかけのごはんが置いたままになっていた。
- そのことを話そうと思って、言いかけたら、ほかの人が違う意見を言ったので、そのまま言いそびれてしまった。
- 乗りかかった船ですね。いいでしょう。手伝いましょう。

200. 超能力で犯人を捜し出せるなどというのは、信じ \_\_\_\_\_。

☐ がたい、られない

◆ 「～かたい」というのはそうするのが難しい、という意味。これと反対の意味で、「たやすく信じられる」の意味で、「信じるに難（かた）くない」という文語的な書き言葉がある。

- 松島旅行で海に落ちたのは忘れがたい思い出となった。
- このセーターはもう穴もあいているし、縮んでいるから、着られないが、母の編んだものだけに捨てがたい。
- 今回の税制改革の主導権をとったのは大蔵省だということは想像に難くない。

## 日本語のイディオムと文型：201 – 210

201. 寒さを \_\_\_\_\_ ともせず、彼は薄着で出かけていった。

☐ もの

◆ 「ものともせず」、「ものとししない」… “問題としない”、“恐れない” という意味。

- 世の批判を物ともせずに信念を貫き通した<sup>1</sup>。
- MF 中田<sup>2</sup> は、昨晚帰国し、時差などものともせず、序盤から2アシスト2ゴールの大活躍で、セリエ A の貫禄<sup>3</sup> を見せつけた。
- 人間が耐えられない厳しい寒さや暑さをものともせず、真空中でも生き延びる“スーパー生物”がいる。クマムシ<sup>4</sup> がそれである。

202. その選手にとって、100勝という数字は \_\_\_\_\_ 通過点にすぎないだろう。

☐ 単なる

◆ 単なる～にすぎない、単なる～のようなもの、単なる～だけのもの「単なる」特別のことではない。

- さて、サイトウという名字、この仕事を始めるまで私は「斎藤」も「齊藤」も同じで、単に斎は斎の略字だと思っていた。しかし、「齊」は「一斉に」と使うように、「ととのう」「ひとしい」という意味で、音はセイ。齊の略字。斎は「潔斎」と使うように、「つつしみ」「ものいみ」という意味で、音はサイ。齊と示を組み合わせた齋の略字。つまり斎と齊は別の字だった。『毎日新聞』より

203. 若者言葉は貧弱だ、流行語など取るに \_\_\_\_\_ と考えるのは老化した大人の偏見だ。

☐ 足らない, 足らぬ

◆ 取るに足らない [文末] / 取るに足らぬ N という形が多いが、「ぬ/ ない」どちらでも可能。

- 誰がかいた絵かということは、取るに足りない問題と言ってよい。
- ほとんど取るに足らない理由を口実に、連続リンチ殺人を繰り返していた。

204. 金をかければ、必ずよいものができるという意見があるが、私たちはこれには賛成し \_\_\_\_\_。

☐ かねる

◆ V-masu かねる… “～できない”、“しにくい” という意味。できない、という意味の間接的な表現。

- お調べになりたい電話番号は、お名前だけでは、分かりかねます。
- 名産だからといって、たったひとつの果物ばかりを作り続けていたのでは、地元経済のアキレスけん<sup>5</sup> になりかねないということだ。

205. その彫刻家は、何 \_\_\_\_\_ として今までに完璧だと実感できる作品はなかったという。

☐ 一つ

◆ 何一つとして、誰一人として… ない→後ろに否定が来て、全然～ない、という意味になる。

<sup>1</sup> Undaunted by criticism, he held fast to his opinions. 研究社『新英和・和英中辞典』より

<sup>2</sup> 中田英寿 (なかだひでとし): 日本の若手、天才的 MF。サッカーセリエ A ローマの MF で優勝。元全日本代表。2006 年ワールドカップドイツ大会を機に引退。

<sup>3</sup> かんろく (=presence, dignity)

<sup>4</sup> 日本国内はもとより、北極に近いグリーンランドから南極大陸、ヒマラヤ山中や深さ百五十メートルの海底にまで生息している。

<sup>5</sup> アキレス腱はギリシア神話の英雄アキレスの名前に由来している。母親のテティスはアキレスを不死身にしようと、不死身の水、ステュクス河に、彼をひたしたが、母は彼の踵をつかんでいたのもので、そこを水にひたすことを忘れてしまった。そのせいで、踵だけが不死身にならなかった。アキレスはトロイ戦争に参加して活躍したが、矢が、アキレスの唯一の弱点であった踵に当たって、死んでしまった。

- 試合には勝ったものの、リーグ落ちが決定した<sup>6</sup> のでは、何一つとして勝利したと実感できず、涙を飲む結果となってしまった。

206. その店は猫の額ほどの店で、客が五人も入れば身動きが \_\_\_\_\_ なる。

☐ 取れなく / できなく

◆ 「身動きが取れない」体が自由にならない、という意味だが、自分の体に問題があるのではなく、部屋がせまい、人が多い、お金がない、スケジュールがいっぱい、など周囲に原因がある場合に言う。「猫の額ほど」..とてもせまいこと。なぜ「犬」ではなく「猫」なのかわからない。「猫の額ほどの部屋」とはあまりいわない。

- 勉強の時間がとれないのではなく、勉強がやりたくないのです。
- うちの庭は猫の額ほどだが、誰にも売れない大切な理由がある。

207. 彼の死は「私が \_\_\_\_\_、誰がやる」といって、立ち上がった矢先の不幸であった。

☐ やらねば

◆ ～ねば、誰がやる (反語：他には誰もいない)。「ねば」は「なければ」と同じ。「ねば」は「ぬ」(203) の “ば” 形。

- 間にあわせねばと、必死でレポートを書いた。
- 「やらねば」という思いとは裏腹に身体が思うように動かない。

208. その選手は、プロ野球界の表も裏も知り \_\_\_\_\_ いるつもりだったが、裏方で自分たちを支えている人々の存在にはまったく気がつかないでいた。

☐ つくして

◆ ～つくす... “すっかり～てしまう” という意味。

- その研究は 1960 年代にすべてやり尽くされている。
- 現代オリンピックの商業的問題点をすべて知りつくしている。

209. 黒い袋で中身が見えないのを \_\_\_\_\_ ことに、危険物や非常識な汚物を平気で捨てる人が後をたたなかった。

☐ いい

◆ ～をいいことに

- 親がいないのをいいことに、子供はいつまでもテレビゲームに夢中だ。
- 台風で電車が止まったのをいいことに、会社を休んでしまった。

210. 世界遺産<sup>7</sup> としての保存を訴える被爆者の声を \_\_\_\_\_ に、ヒロシマ<sup>8</sup> を伝えるものが消えてゆくところであった。

☐ よそ

◆ ～をよそに...～に全然関心を払わないで、～に関係なく、という意味

- 外の雨天をよそに一回戦 3 試合の熱戦を行った。
- 長引く不況をよそに、家庭用テレビゲームは、好調に売行きを伸ばした。

<sup>6</sup> 1999 年、サッカー J リーグで、浦和レッズは最終戦、延長戦で試合に勝ったが、その試合途中で他の試合で、ジェフ市原が先に 90 分で勝利を決めたため、得点差で J1 リーグから J2 リーグに降格することが決定した。

<sup>7</sup> 世界遺産 (せかいいさん) 条約に基づく文化遺産として登録する制度。世界遺産委員会の本部はパリ。日本では、奈良・法隆寺、姫路城、西本願寺、広島原爆ドームが世界遺産条約のリストに登録されている。

<sup>8</sup> 当時 (1993 年)、原爆ドームをユネスコの「世界遺産」に、との署名運動が広島で広がっていた。しかし、申請の権限を持つ文化庁は「原爆ドームは文化財ではない」と否定した。後世に伝える遺産と位置づける広島市と市民は「同じ戦争の遺産であるポーランド・アウシュビッツの強制収容所が登録されているのになぜ」、「国には原爆を投下した米国への配慮があるのではないか」との批判がマスコミに流れた。

## 日本語のイディオムと文型：211 – 220

211. 中程度の豪雨であったが、短時間であったために各地で川が氾濫したと \_\_\_\_\_。

☐ 見られる ◆ 「～と見られる」、「～と見て」という表現は、“～と考えられる”、“～と考えて、予想して、” という意味。

- 就職活動にかかる費用が増えたのは、不況で会社訪問に交通費を支給する企業が減ったことなどが、主な原因と見られる。
- アメリカン航空 123 便 (ボーイング 737) の機長から「米軍機と見られる戦闘機と異常接近 (ニアミス) した」 との報告があった。

212. 書い  A  消し、書い  B  消しして、作品を仕上げていった。

☐ A ては; B ては ◆ 「A ては、B、A ては、B して、」 ... 動作を繰り返す様子。

- 喰っては、寝、喰っては、寝てさえいれば、すぐ太りますよ。
- 雪国の子どもでも、何回でも、滑べっては、転び、滑べっては、転びして、みんな滑べれるようになるんです。

213. 焼酎で一升ビン<sup>1</sup> の酒を飲み干そうと思っても、日頃飲まぬ私では、飲ん \_\_\_\_\_ 飲ん \_\_\_\_\_ ならない。

☐ でも ◆ ～でも (ても)、～でも (ても)、{おわらない | ならない} ... 繰り返しても終わらない状態。

- ベルトをするのをわすれてしまったために、上げても上げてもスポンがずり落ちてきて、ステージではみんなの笑いものになってしまった。
- 行っても行っても終わりのない道。

214. 早く打ち明ければ \_\_\_\_\_ のに、まだ言えないでいる。

☐ いい ◆ ～ば、いいのに／～たら、いいのに

- ちゃんと講義のノートを覚えればいいのに。
- 後ろから、ずっと白バイがついてきていて、気になって仕方がない。私は違反を犯していない自信はあるが、早く抜けばいいのについてくる。

215. 疲れきって、ぐっすり寝込んでいる \_\_\_\_\_ を起こされ、機嫌が悪くなった。

☐ ところ ◆ ～ているところを...、～たところを...。「～ところ を」のように助詞が「を」であることに注意。

- 婚約者以外の女性といっしょにいるところを誰かに見られはしないかと心配していた。
- この生徒は、タバコを吸っているところを学校の担任の教師に見つかって、停学処分となっていた。

<sup>1</sup> 現在では、紙パックやペットボトルが使用されているが、昔は、酒や油の約 1.8 リットル入る大きなビンや缶が使われていた。

216. この二人の作家は、\_\_\_\_\_ もなく中堅の実力派の名に恥じない小説家であった。

☐ まぎれ ◆ まぎれもなく...「まちがいなく」「疑いなく」「絶対に」という意味。

- 冠婚葬祭はまぎれもなく政治の場である。
- 韓国語の名称は、タイ焼きではなく「ブンオ・パン」。「フナの形をしたパン」という意味。形や色はまぎれもなく、日本のタイ焼きと同じだが、韓国人は、タイよりフナに形が似ていると主張する。

217. 三人の子供たちは、思い \_\_\_\_\_ にこの一年の楽しかった思い出を日記に綴った。

☐ 思い

◆ 思い思いに、...「それぞれが、個人の好きなように」という意味。

- 冬休み明けの月曜日。校内は、授業を終え、休暇の興奮を残した学生たちが思い思いにくつろいだり、かたまって話し込んでいた。
- 仮に「公園体験」と名付けよう。ヨーロッパに旅行して、彼の地の公園で市民たちが思い思いにくつろぎ、遊んでいる光景に接して「うーん、いいなあ」と思う。

218. 今場所は初日から二横綱が \_\_\_\_\_、やぶれるという波乱続きの幕開けであった。

☐ 相次いで

◆ 相次いで、～という... 続き。よくないことが続くことを書く場合が多い。

- 相次いで、両親がこの世を去った。
- 昨夜、名神高速道路下り線で、乗用車1台とトラック3台が相次いで追突、最後尾のトラックは横転した。

219. 実験を数回繰り返したところ、着火はする \_\_\_\_\_ すぐに火は消えることが分かった。

☐ ものの

◆ 「～はするものの」→“～するけれども、”という意味。

- 50代ではじめたハーフマラソン<sup>2</sup>では、アキレスけんが痛みだすハプニングがあったものの、夫婦2人そろって完走を果たした。
- マイケル・ジョーダン<sup>3</sup>という名前こそでていないものの、NBA<sup>4</sup>の大物となれば、自ずとジョーダン氏と誰もが考えてしまう。

220. この先どのようにするかは、\_\_\_\_\_ に決定した法案を元に検討するとのことであった。

☐ 先

◆ つい、さきほど

- 先にゆでておいた卵をつぶして、今度はマヨネーズといっしょにソースを作ります。
- 雨なので、遠足は先に延ばしましょう。
- アインシュタイン<sup>5</sup>は、この先、相対性理論<sup>6</sup>を発表し、世界的な科学者になるのだが、当時、そんなことを想像する人は誰もいなかった<sup>7</sup>。
- 注) さっき、町で見た人は、ここの市長さんなんだよ。

<sup>2</sup> 普通のマラソン(フルマラソン)の42.195kmに対して、その半分の21.0975kmを走る。

<sup>3</sup> Michael Jordan:元アメリカ、シカゴ、ブルズのバスケットプレーヤー。

<sup>4</sup> 全米プロバスケットボール協会

<sup>5</sup> Einstein, Albert; 1879-1955; ドイツ生まれの米国の物理学者; 相対性理論の創始者

<sup>6</sup> そうたいせいりろん; the theory of relativity

<sup>7</sup> アインシュタインやエジソンは子どもの時、学校嫌いだったことが伝えられている。若林実著『アインシュタインも学校嫌いだった』『エジソンも不登校児だった』(筑摩書房)。

## 日本語のイディオムと文型：221 – 230

221. そんな大変なことになっているとは \_\_\_\_\_ 知らず、家でゆっくりビールでも飲んでいました。

☐ 露

◆ 「…とは露しらず」の形で覚えるとよい。全く気がつかなかった、知らなかったという意味。

「露」は昔から和歌でよく詠まれる（使用される）言葉（和歌でよく詠まれる言葉を歌語または歌ことばと呼ぶ）である。

夜中に気温が下がって、早朝、草木についている小さな水玉のことを露という。気温が上がってしまうと、消えてなくなってしまうことから、「命のはかなさ (short-lived/ephemeral life)」をしばしば意味する。

•

222. \_\_\_\_\_ 立ってもいられず。

☐ いても

◆ 安心できない、落ち着かない様子、気持。

- 中学生の時、広島カープの初優勝に感動、それ以来、野球少年となった。大学でも野球を続けたが、ごく普通の会社に就職した。しかし、ある時、いても立ってもいられなくなり、安定した生活を捨て、プロ野球の入団テストを受けた。

223. とても難しいとは思いますが、あきらめずに、\_\_\_\_\_ でやってみましょう。

☐ だめもと

◆ 漢字で「駄目元」とも書く。「駄目で元々」の略。「元から駄目なのだから、失敗しても惜しくはないはず。少ない可能性でも成功すれば得だから、チャレンジした方がよい」の意味。

- 裕福に育った現代っ子は、何事も打算的で、だめでもともと、だめもとで、チャレンジするという姿勢が欠けていると言われている。

224. いいはと思うけれど、高い品物なので買ってもいいかどうか、かみさんに聞いてみない \_\_\_\_\_。

☐ とね

◆ 「聞いてみないとね」は「聞いてみないとわからない」「聞いてみないといけない」のように（わからない／いけない）という言葉が省略されている。<sup>1</sup>

- 被災地が今どういう状況なのかわからないので、実際に行ってみないとね、わかりませんね。

225. そんなにやすやすと子供 \_\_\_\_\_ の手には乗るもんか。

☐ だまし

◆ 「子供だまし」簡単な人をだます手段。「やすやすと」簡単に。「手に乗る」相手の思うように動かされること。

<sup>1</sup> 1999年に所ジョージが作曲した「明石家さんまさんに聞いてみないとね」（明石家さんま&所ジョージ）はこの言葉を有名にした。

- そもそもロックンロールそのものが「子供だまし」だからだ。誰でも弾けるような曲を弾いて、下手な声でがなる。変な格好で踊る。俺は強いぜーと言ってみる。子供だまし以外の何者でもない。(http://d.hatena.ne.jp/Maktab/20070501 より引用)

226. その歴史的瞬間をじっと息を \_\_\_\_\_ テレビで見っていました。

☐ のんで

- ◆ 「思わず、ハッと、じっと」などの言葉につづけて、驚いて息をとめること。「息を殺して」「息を凝らして」「かたずをのんで」ともいう。

- この紅葉の美しさに思わず息を飲んでしまった。

227. 水着のデザインが古くさかったので、失礼だったかもしれないが、笑わずには \_\_\_\_\_。

☐ いられなかった

- ◆ 「～ずにはいられない」は「自然と～してしまう」「～したくなってしまうて困る」「～したくてがまんできない」という意味。

- その漫才師のあまりのばかばかしさに、吹き出さずにはいられなかった。
- 愛さずにはいられない。

228. 自分のことだけで \_\_\_\_\_ 一杯なのに、これ以上、他の人の世話なんてできません。

☐ 精

- ◆ 「精一杯やる」は、「一所懸命にやる」と文脈的には同じ意味もあるが、「これ以上できないほどの」という意味もあって、否定的に使われることもある。

- 今はこれが精一杯、これで気に入らなければ、他の店に行つて。
- 精一杯やって、それでだめだったら諦めるしかない。
- これでももういっぱいいっぱい。これ以上もう何も車に積み込めませんよ。

229. 子供が喜ぶのはいいことだが、こんなにはしゃぎすぎるも考え \_\_\_\_\_ だね。

☐ 物

- ◆ 「考え物」は、「表面はよさそうだけれども、実は問題点」という意味。

- 裏側のデザインだけが派手になるのは考え物だ。
- 安いことはいいことだが、故障が少なからずあるのは考物だね。
- 人を使うことばかり覚えて、自分から何もしようとしなくなるのは考え物だ。

230. 今晚 \_\_\_\_\_ に待った初の世界陸上日本開催にわくわくドキドキしている。

☐ 待ち

- ◆ 「待ちに待った」は「いよいよ」とも言い替えられる。「長い間待つて、もうすぐその瞬間を迎える」という意味。

- 遅咲きの白いコブシの花が咲いた。樹齢 250 年のこの木はなぜか三年に一度しか花が開かず、今年が待ちに待った満開の年だった。
- 待ちに待った手紙が今日届きました。
- 今日は待ちに待った海外旅行だったが、テロ対策のため空港のセキュリティチェックでちょっとうんざりした。

## 日本語のイディオムと文型： 231 – 240

231. それがいいかどうかは、時と場合に \_\_\_\_\_。

☐ よりけり

◆ 「けり」は古語では過去や詠嘆を意味するが、この場合は強調の意味。

- 冗談をいうのは、時と場合、それに相手によりけりですよ。
- TPO というのは、Time、Place、Occasion の頭文字から作られた和製英語で、場合によりけり、という意味であったが、そのうち、条件に応じた正しい服装をする (Occasional Dressing) という意味になった。

232. 彼には絵を見る \_\_\_\_\_ がありますね。

☐ 目

◆ 「目がある」は「人、芸術、価値の選択・判断する力がある」という意味。「選択眼がある」ともいう。

- 人を見る目がある。
- 料理人の第一歩は、まず材料を見る目を養うことから始まる。

233. 物理学者が明らかにしようとしているものは、何を隠そうわれわれが当然のごとく生きているこの自然界に \_\_\_\_\_ ならない。

☐ 他

◆ 「～に他ならない」は「～そのものだ」に言い替えられる。「何を隠そう」は「本当のことをいえば」の意味。「当然のごとく」は「あたりまえのように」「日常何の不思議もなく」の意味。

- なんでこんなにめんどろなことが毎日できるのかというとそれは楽しいからに他ならない。
- この選手の退場はチームにとって事実上の敗北宣言に他ならない。



## 第4章 英訳

各例文の英訳を掲載する。

1. It only rains when you don't have an umbrella with you, so you can never count on the weather forecast.
2. It's cold again today, though not as cold as yesterday.
3. If I said that I'll do it, I'll see it through to the end.
4. It's locked, so they've probably gone out somewhere.
5. The weather is cloudy and grey, threatening to rain at any moment.
6. I can't figure it out at all. (I have no idea what's what.)
7. I looked out of the window for some reason or another and noticed that the leaves have turned red.
8. We are into late autumn, and the early mornings and evenings are quite chilly. How are you?
9. I read it after a fashion, but I didn't really understand what it was about.
10. Although he really knew, he pretended not to and told me nothing.
11. No matter how rapid the current is, the fish swim upstream.
12. She worked every day, without missing even a single day.
13. After you've arrived there safely, please give me a call right away.
14. Even though they say it's already spring, it's as cold as if winter were still here.
15. I have a slight headache, but since I have an exam today I have no choice but to go to school.
16. If you see Tanaka-san tomorrow, please tell him/her to give me a call.
17. One more failure and we will probably be compelled to call off the study.
18. No matter how much you eat, you don't necessarily gain weight.
19. The higher you climb on a mountain, the thinner the air becomes.
20. If I had to make a choice, I'd say that I like fish better than meat.
21. I looked over all the grammars I could lay my hands on, but no such thing appears anywhere in them.
22. After I conducted one study after another, the experiment finally yielded results.
23. Sunlight, water, and carbon dioxide are necessary for plants to grow.
24. I still can't get out of that childhood habit.
25. If I have to buy [something] regardless, I'd like to buy something that's cheap and good.
26. With this kind of academic record, you couldn't possibly get into a good university.
27. It's only natural for human beings to make mistakes.
28. People say there are too few parks in Japan, but is that really true?
29. This time very few people came, but we hope to have as many as possible next time.
30. Much to our regret, we are obliged to conclude that he is the criminal.
31. It is not until we have time to rest that we can lead our lives as human beings.
32. It's pointless to take the trouble to come to Japan and then not study Japanese.
33. I start to feel like travelling somewhere, though I don't have any particular place in mind.
34. On all the trains on the Tohoku line, skiers are packed in like sardines. (All the trains on the Tohoku line are jam-packed with skiers.)

35. I don't care who laughs at me.
36. Far from feeling relieved, I'm so worried that I can't sleep a wink at night.
37. It's been raining continuously since the day before yesterday.
38. On serene autumn nights, thoughts of my late mother come to mind.
39. The door, which should have been closed, is/was open.
40. It is rare to see such an interesting film.
41. Men are expected not just to be strong; men can't be men without gentleness.(=Real men can't just be strong; real men need to be gentle.)
42. I am told that that animal's body temperature rises along with an increase in the air temperature.
43. In the beginning it was easy, but gradually it has gotten more difficult.
44. There are just four of us here, so let's play mahjong.(=There are four of us here, which is just right for a game of mahjong.)
45. When you go to the post office, please stop by the supermarket and do the shopping.
46. The more you look at this picture, the more you can relish it(=the more interesting/pleasing it is to look at).
47. Customers are requested to note that tomorrow is our regular shop-holiday, so we will be closed.
48. I want to contact him straightaway, but unfortunately I don't have his phone number.
49. He always tells funny stories and makes us laugh.
50. A lot of trees burned down in the forest fire.
51. As long as we had water, we could survive for a few days.
52. No matter how hard it is, you must keep on trying right to the end.
53. The accident doesn't seem serious.
54. I'd like to show my appreciation to you with this little gift.
55. Although I thought it was a little expensive, I took the plunge and decided to buy it.
56. His attitude changed as suddenly as if he'd done a complete about-face.
57. People are queueing up and waiting to buy tickets.
58. The talk the teacher gave us yesterday attracted my interest.
59. The book I thought I'd lost turned up under the desk.
60. That's a bargain I found in a shop which I just happened to be passing by.
61. I inadvertently left my bag on the train.
62. The sight of the terrible traffic accident sent a chill down my spine.
63. In Taiwan, people wash their faces with cold water even in the winter.
64. Their children are already out on their own, so that couple lives quietly and comfortably.
65. We'd be very pleased to have you with us.
66. I cut my hand with a knife and it's covered with blood.
67. Fresh bread is very delicious.
68. You can't take the day off work just because it's going to rain.
69. In December, music associated with Christmas (=Christmas music) plays in town.
70. Although I know I shouldn't drink, I start having a good time and then I drink in spite of myself.
71. It appears unlikely to rain tomorrow because the sunset is [so] beautiful.
72. "Where does your back itch? Here?" "Yes, yes, there. Oh, that feels good!"
73. The relationship between language and culture is too strong to break.
74. We won't get anywhere asking every person for his/her opinion, so let's take a vote.
75. "The strong win out in the end, don't they." "Yes, such is life."
76. Even though I said I didn't want to, I was forced into drinking.

77. That guy always says things that succeed in annoying me.
78. If someone says Egypt, we immediately call to mind the pyramids.
79. It is entirely possible that the Japanese race crossed over from the south in this way.(The theory that the Japanese race crossed over from the south in this way is entirely plausible.)
80. When I called my friend's house, a total stranger answered the phone.
81. Although this question was easy, not a single person was able to answer it.
82. Without having to think, "I wonder what that was," I knew right away that the child's balloon had popped.
83. It's terribly unfortunate that that person passed away at the age of 35, in the prime of his/her working years.
84. Suzuki-san took leave of this world before his/her time, at the age of 45, and went to his/her eternal rest.
85. If I could spare the time and/or the money, I'd like to go on a trip or something, but reality is not that kind.
86. During my four years at university, I abandoned myself to pachinko and mahjong, and never studied seriously.
87. That person has already experienced that kind of thing, so he/she won't make the same mistake twice.
88. I caused my parents a great deal of worry because of this incident.
89. Knowing him, he has no common sense, so he might do such a thing.
90. From the lotus blossom emanated a fragrance so pleasant that it was beyond description.
91. Although I'd been planning on watching the 9 o'clock news, I got absorbed in my book and forgot all about it.
92. Although he/she had been fooling around every day up till then, all of a sudden he/she started studying seriously, and it was as if he/she had turned into a completely different person.
93. Because my father is an alcoholic, he can't go even a short time without a drink.
94. These days it's rare to see a whole family sit down together for a meal.
95. According to statistics, no more than 8
96. Today is Sunday, but it's raining and I don't have any money, so I have no alternative but to stay at home and sleep.
97. He couldn't possibly be a foreigner.
98. As might be expected of a student in the vocal music program, his/her speaking voice is pleasant too.
99. Because it's your fault, I think that you should apologize.
100. I don't even have a 10-yen coin, let alone a thousand-yen bill, so I can't possibly pay the money back.
101. It would be impossible to go out in such a fierce snowstorm, even if I tried.
102. Even if I complained to the likes of a [company] president such as him/her, he/she wouldn't listen.
103. He/she sent us one letter, and we haven't heard a word from him/her since.
104. It's a waste to leave this room unused.
105. His death will be mourned all the more deeply because he was the only painter born during the Meiji era.
106. My carelessness caused a child to be seriously injured. (My carelessness inflicted serious injury on a child.)
107. Even though he had caught a cold, he came in first in the [long-distance] race.

108. If you're going to visit him/her in the hospital, wait until he/she gets a little better.
109. Since then, nuclear power has come to attract attention as a new [form of] energy.
110. I almost left my umbrella on the train, you know.
111. I had a terrible time making up my mind whether to have soba (buckwheat noodles) or udon (wheat noodles), and I finally ended up having curry and rice.
112. On a hot summer day, nothing could be better than drinking cold beer in a beer garden.
113. Just what effect did these scientific-cultural phenomena have on human beings?
114. Whether you go or not, it doesn't matter to me. (Whether you go or not has nothing to do with me.)
115. The bus is ready and waiting to leave, except that Yamada-san isn't here yet.
116. He turned to me with an expression verging on anger and said, "What brought you here?"
117. Even if the sky is cloudy, it isn't [bad] enough for you to take an umbrella with you.
118. I didn't marry Kyoko because I wanted her inheritance or anything.
119. A "Thank you very much. This is a gift to show my appreciation..."  
B "That's really not necessary." (= "Such a gift isn't at all necessary.")  
A "Then, could you at least tell me your name, please?"
120. The lost boy burst into tears the instant he saw his mother, who had come to pick him up.
121. I ran as hard as I could so as not to miss the train, and I made it.
122. You're not a child [anymore], and you can't go on eating kiddie lunches forever.
123. Although I'm studying very hard, my grades aren't improving the way they should.
124. I have an entrance examination tomorrow, so I don't think I'll get much sleep tonight.
125. That person appears to have already finished his meal and is having a cigarette with his coffee.
126. The opinion of the minority should be valued, but in the real world it tends to get ignored.
127. Now, at that dealer's, you can buy a Benz for 360,000 yen. Of course, though, it doesn't have an engine.
128. Not only human societies but even monkey societies have a hierarchy of their own.
129. It would be hard enough to finish this job in three days, so telling us to finish it in half a day is absolutely crazy.
130. That person has such a look on his face, but it's not by any means because he's angry. He always looks as if he's in a bad temper.
131. Believe it or not, this boy can read a book with more than three hundred pages in three minutes and then explain its contents!
132. After I was so kind to him/her, he/she could at least have said thank you.
133. Wouldn't it be a bit difficult to polish off three steaks and three plates of rice in an hour?
134. He is an idiot who can't be helped.
135. A "You saved my daughter's life(=My daughter owe you her life.). I wouldn't feel right if I didn't do something to thank you."  
B "Oh, no, please don't bother."
136. In your everyday life, you should refrain from behaviour that might invite misunderstanding.
137. The brothers' unseemly dispute over the inheritance continues.
138. Even if what you're saying is true, violence is wrong.
139. I hear that his illness is already past the point of curability, but let's pretend we don't know.
140. It isn't good for parents to butt in on children's quarrels.
141. It seems that autumn typhoons are frequently accompanied by heavy rain.
142. If he wants to cry, just let him cry. He'll probably cry himself out in a little while.

143. For now, I'll just pay you 3,000 yen. Please wait until the end of the month for the rest.
144. Some shops are friendly to customers, while others treat them coldly.
145. You know, if you scold a crying child thoughtlessly and excessively, it's not effective.
146. We'd rather buy a house than have to pay such high rent.
147. With the [signal] "Ready, go!" all of the competitors started off at once.
148. It is also conceivable that he stole it, but I don't want to think so.
149. Sorry to trouble you (=This may be a rather abrupt question), but could you tell me whether there is a public lavatory near here?
150. Examinations will be given class by class.
151. A child suddenly dashed out into the road, and I almost ran over and killed him/her.
152. It's not worth doing, at such a high risk.
153. Stop [your] dawdling, and hurry up and go to school.
154. Who do you want to tell this wonderful news to, first of all?
155. I'd like to continue with this work, even if it results in a big loss.
156. Whether you go on a trip or start a business of your own, spend this money on whatever you like.
157. Since I've already done this much to prepare, now I have no choice but to carry it out.
158. I've been very kind to him, but on top of that he even has the nerve to ask me for money...I'm at a loss for words.
159. Even though he/she is always borrowing money from me, he/she says, "Mum, what would you like for a present?"—which of course he/she doesn't really mean.
160. I had thought that person was respected by everyone, but now I know I misjudged him/her completely. What an awful thing he/she did!
161. This product is on offer at a bargain price, made possible only by direct delivery from the producer.
162. This is an ideal reference book for exam preparation.
163. Since he is trying so desperately to tell his story, it can't all be a pack of lies.
164. You've worked so hard up till now, and now you're going to quit? Don't be silly!
165. Even if it's "all-you-can-eat," you'll probably only be able to finish up three plates at the very most, no matter how much you eat.
166. If goods are priced too highly, they won't sell well.
167. There's such a big difference of opinion between us that it's not even worth mentioning.
168. No matter how hard I try, I'll end up being called names.
169. Because nobody was kind enough to do it for me, I had no choice but to do it myself.
170. It seems that the project isn't proceeding according to plan because of insufficient funds, and because of outside interference as well.
171. When all is said and done, in the end you can trust only yourself.
172. I'm not really sure, but I think the conversation was something about the question of pensions...
173. I can tell you, it was so hugely amusing that I almost died laughing.
174. I hear they were discussing so important a matter alone together, in whispers!
175. This politician's scheme met with the criticism of the opposition parties and, furthermore, provoked the antipathy of the entire nation.
176. Cancer is not the sort of illness which people catch all of a sudden; it's a complicated and incurable disease which gnaws away day by day at the health of the patient.
177. In winter, this place is a lonesome and deserted town, but in the summer, when the swimming season opens, it livens up with young people in colourful swimsuits.
178. At Hyde Park in England, strangers engage each other in lively discussions every day.

179. The whole mountain turned into a sea of fire, all because of the tiny flame of a cigarette.
180. A wooden house, for instance, is reduced to ashes in an instant once it catches fire.
181. Certainly I'd heard it was awful, but I really didn't expect it to be this horrendous.
182. Although I did it because I thought it was a good thing to do, it ended up making that person all the more unhappy.
183. For the next test, I'm just going to write down whatever any old book says and fake my way through.
184. There are more and more suicides among the children of parents who expect too much of them.
185. This cafe has many customers who come to savour not only the smell of its coffee but also the atmosphere of the place.
186. It was not until our baby was born that I actually started to feel like a father (=that the actual feeling of being a father welled up in me).
187. It's not that I don't cook at all, but when I'm alone it's a nuisance so I usually eat out.
188. I hear that person has gone to Tokyo and doesn't live here any more.
189. He came into my room silently, without even being invited.
190. Purely and simply because I studied very hard, I was able to get a good grade.
191. What with all the surprise and rejoicing, the place was in an uproar.
192. I can't get things sorted out unless I deal with them one at a time.
193. I can't figure out what's going on. That person turned up with a year-end gift ("oseibo")!
194. When you grow up, you must not become the kind of person who causes nuisance to others, even by mistake.
195. That person is no prime minister, after he/she went so far as to embezzle public money.
196. Carried away by her sorrow, she couldn't even cry; she just squatted down without any expression on her face.
197. [The government] lowered income taxes, but meanwhile it raised the consumption tax, in order to guarantee its financial resources.
198. Now that things have come to this, we have no choice but to do a drastic restructuring and reorganize management.
199. I put a half-finished cup of coffee beside the computer while I was working, but I accidentally spilled it.
200. It's hard to believe that they can hunt down criminals by means of extrasensory perception.
201. Making nothing of the cold, he went out in thin clothes.
202. The record of hundred wins would be merely a passing point for the player(pitcher).
203. It is a prejudice of the old to think that the language of the young is poor, and vogue-words are insignificant.
204. There is an opinion which we can always make a better product if we spend more money, but we don't agree with this.
205. The sculptor said that he had never had any perfect works which could satisfy him.
206. The shop is so tiny that it becomes impossible to move with only five people inside the shop.
207. His death was a tragedy happened just as he was about to take action after saying, "who else would do it, if I don't."
208. The player believed that he knew everything about the world of professional baseball, but he didn't realise the existence of the people supporting players behind the scenes.
209. Many people disposed garbage that contains dangerous and unacceptable goods taking advantage of black garbage bags that do not show their contents.

210. In spite of the voices appealing for the preservation of Hiroshima Peace Memorial as a world heritage, the landmark conveying the history of Hiroshima was about to be vanished.
211. It was a heavy rain but not a serious one. However we judge that it caused floods in the various places due to its short duration.
212. S/he finished a work up by drawing and erasing it again and again. After many repeats of writing and deleting, s/he completed the work.
213. I feel abandoned and try to drink up a 1.8-liter-bottle of sake, but I have had a lot of it yet even if I keep drinking since I don't usually drink.
214. Even though he should speak his mind, he is still hesitating about doing so.
215. He became angry since someone woke him up while he was sound asleep, exhausted.
216. These two writers are the novelists unmistakably appropriate to call the competent and influential.
217. The three children wrote the pleasant memories of the year one by one in their diaries.
218. This sumo tournament has started with eventful episodes such as both of two Yokozunas being defeated one after the other on the first day.
219. After having conducted the experiments several times, it was found that although it could be ignited, the flame would go out immediately.
220. What we should do in future will be discussed based on the bill which was legislated recently.
221. I was just drinking beer at home without realising that such a terrible thing happened.
222. I went onto a flight right away, feeling restless, when I heard of my father's accident.
223. I think that it is very difficult, but don't give up and go for it! You have nothing to lose.
224. I think it is quite good but because it is an expensive item, I'd better ask my wife whether it is okay for me to buy it.
225. I won't be easily cheated by such a childish trick.
226. I was watching the historic moment on TV with bated breath.
227. It may have been impolite, but I could not help laughing because the design of her swimwear was very old-fashioned.
228. I have too much on my plate already. I can't do anything else for others.
229. It is good that children are delighted, but they frolic too much that makes you wonder.
230. Tonight there will be a long waited game of IAAF(International Association of Athletics Federations), for the first time in Japan, and I am very excited about it.
231. It depends on circumstances whether it is proper or not.
232. He has a good eye for arts.
233. What physicists have been trying to unveil is, to tell the truth, nothing else but something about this natural world where we live as a matter of course.
234. A politician who said last week "I will make the politics of Japan better" has been arrested today due to a corruption case.
235. "About one person is so demanding that I did what she requested unwillingly." "Do yo mean it's me?"
236. Looking at a wedding as an outsider, it seems a full of happiness, but for the couple themselves it is indeed a very troublesome event.
237. He is not at all such a weak person who would whinge in the presence of other people.
238. Saving the face of their Prime Minister cannot be the purpose of the politics of any country.
239. We feel a little awkward because we have just had our wedding ceremony but let us inform you that yesterday we found out that my wife is pregnant.
240. Yesterday, I ran into my dear friend at a most unexpected place.
241. My company went bankrupt, I got into a large debt, I got a divorce, I didn't know what I to do, and I was at a loss.